

令和5年度 当初予算・組織の概要

第6次藤枝市総合計画
基本理念

まち・自然・文化と共生 未来へ飛躍
幸せになるまち 藤枝づくり

令和5年度 重点方針

「未来への成長基盤づくり」「次代を担う人づくり」

- 「健康」「安心」「希望」のまちづくり
- “市民の幸せと活躍”による、さらに元気なまちの実現

- ◆ 市民が元気に活躍するまちづくり
- ◆ スマート・ゼロカーボンシティへの転換
- ◆ 未来に向けた拠点都市づくり

重点戦略

- I コンパクト+ネットワークのまちを創る
- II 産業としごとを創る
- III ひとの流れを創る
- IV 健やかに暮らし活躍できるまちを創る

1 当初予算・組織の概要

令和5年度 当初予算のポイント

積 極型の予算編成

過去最大規模 (一般会計)

(5)(7) (6) 億 (8) 千万円
心なごみ、胸躍る。躍動するまち藤枝

576億 8,000万円

前年度から 19 億円増 (+3.4%)

- ◆必要事業の重点化と積極的な推進
- ◆特定財源の確保と基金の有効活用
- ◆事業推進と後年度負担とのバランスを考慮

未来への成長基盤づくり

将来への投資となる施設整備を加速

- ◆中心市街地の整備、旧市街地総合再生の促進
- ◆陶芸村拠点施設、新たな工業団地の整備着手
- ◆長期的な最重点施策クリーンセンター整備の本格化

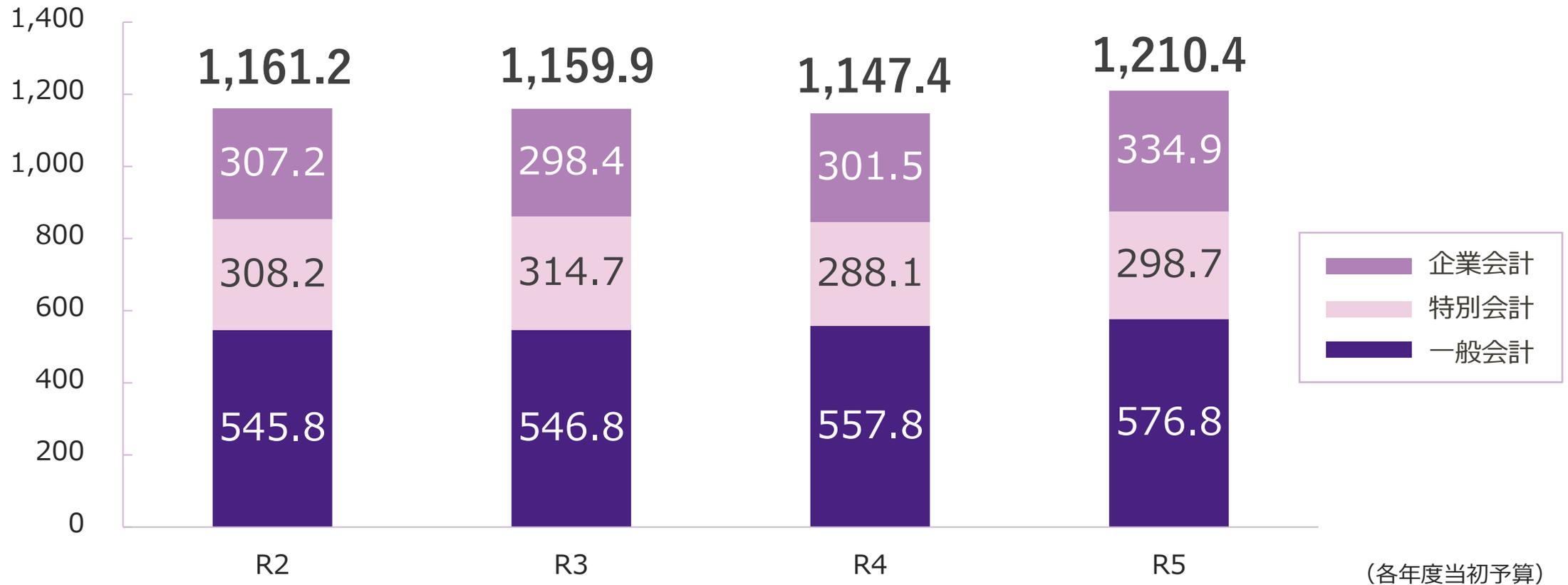
次代を担う人づくり

全世代に渡る、活躍する人づくりの推進

- ◆妊産婦、子育て家庭、こどもの包括的な支援の促進
- ◆多彩な学びの提供と多世代の学びへの参加促進
- ◆官民挙げた日本一働きやすい職場環境づくり

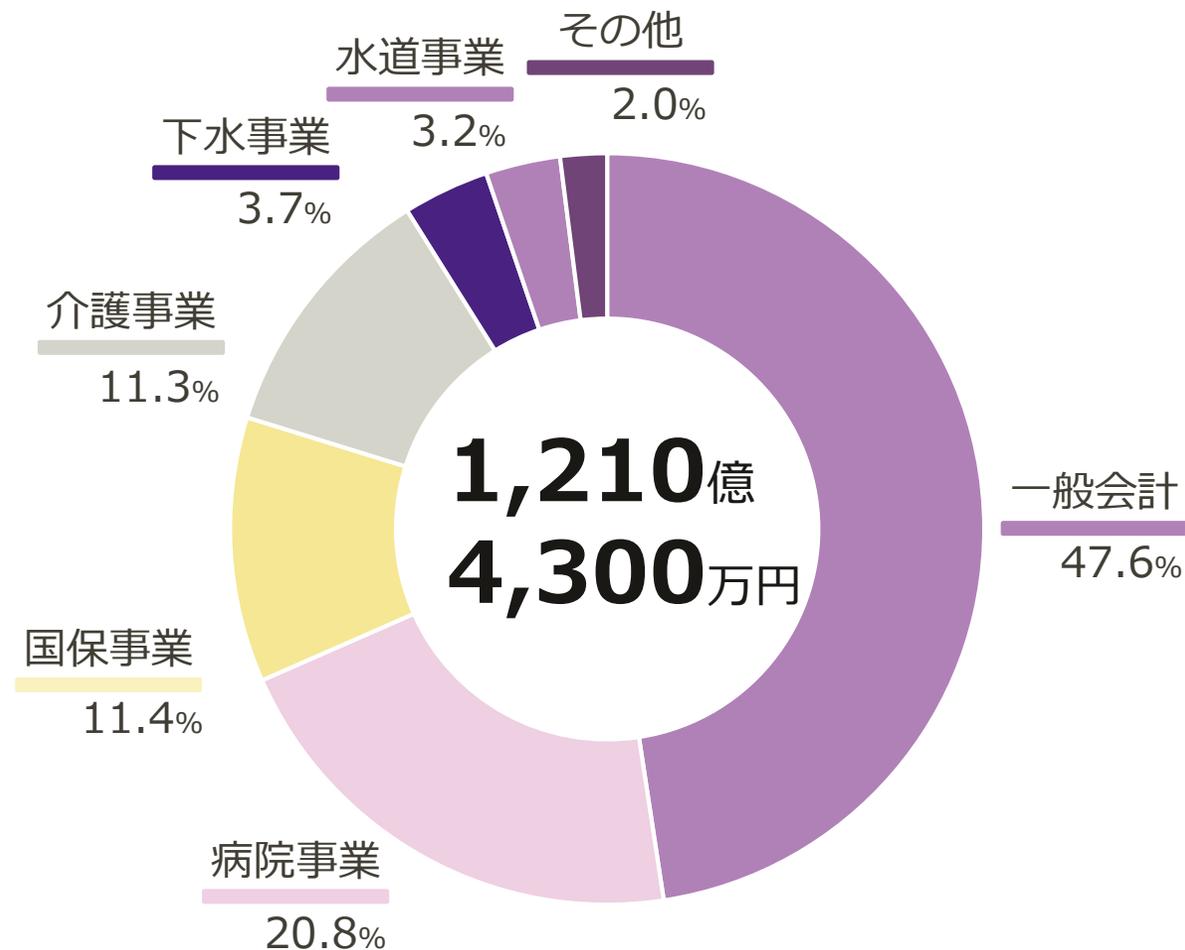
当初予算の規模

(億円)

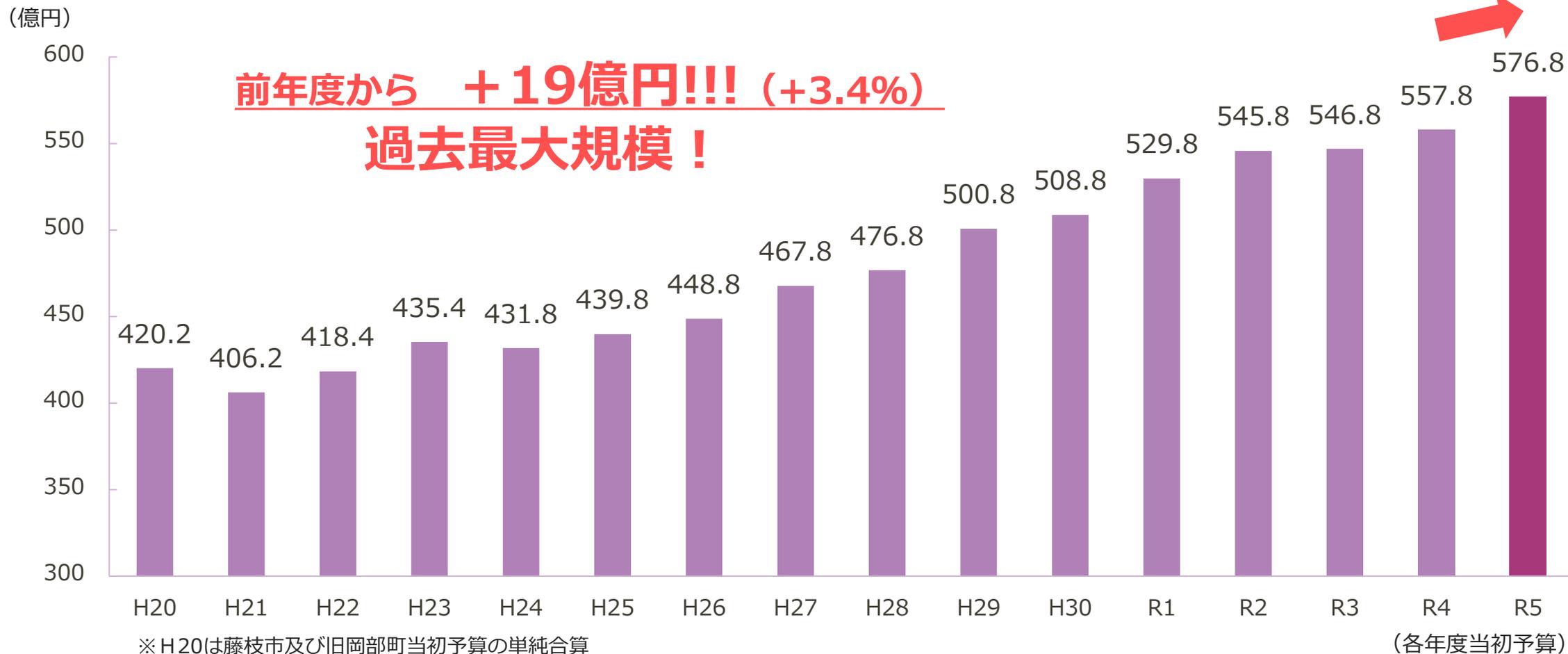


令和5年度 会計別予算構成

		(前年度増減率)
一般会計	576.8億円	+3.4
病院事業	251.5億円	+14.9
国民健康保険事業	138.0億円	+2.2
介護保険事業	136.8億円	+4.0
下水道事業	44.4億円	▲1.7
水道事業	39.1億円	+4.4
その他の会計	23.8億円	+10.5



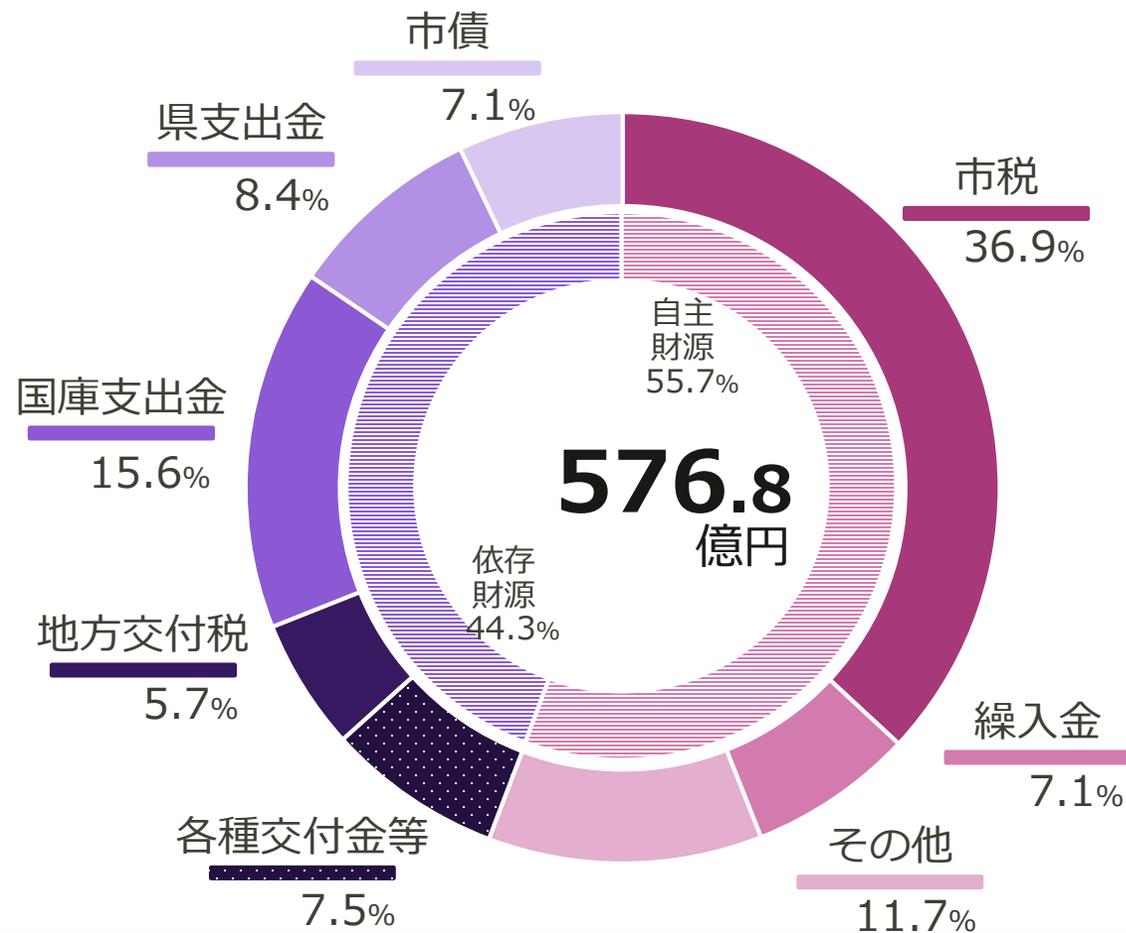
一般会計 予算額の推移



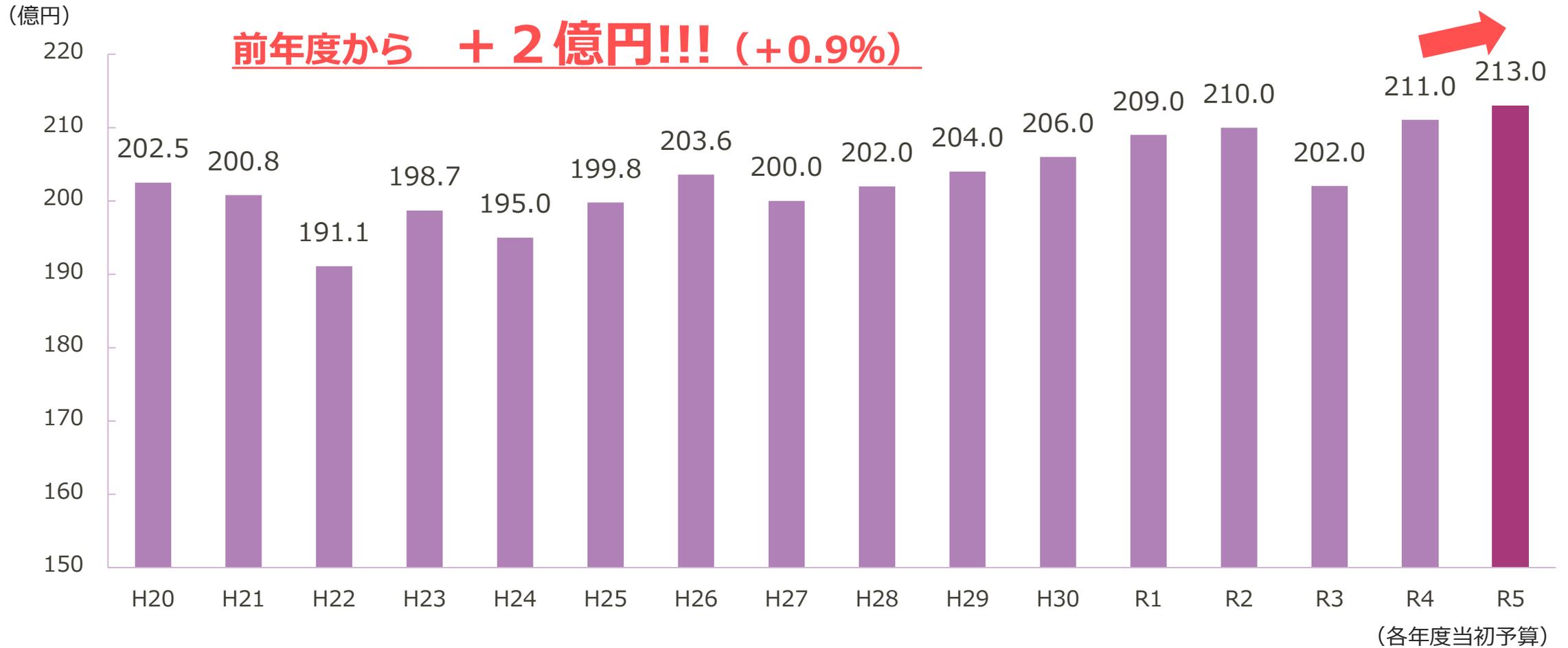
令和5年度 一般会計 歳入構成

(前年度増減率)

市税	213.0億円	+0.9
各種交付金等	43.5億円	+8.1
地方交付税	32.6億円	+1.9
国庫支出金	89.7億円	▲1.0
県支出金	48.4億円	+1.3
繰入金	40.9億円	+1.5
市債	40.9億円	+22.6
その他	67.8億円	+8.5



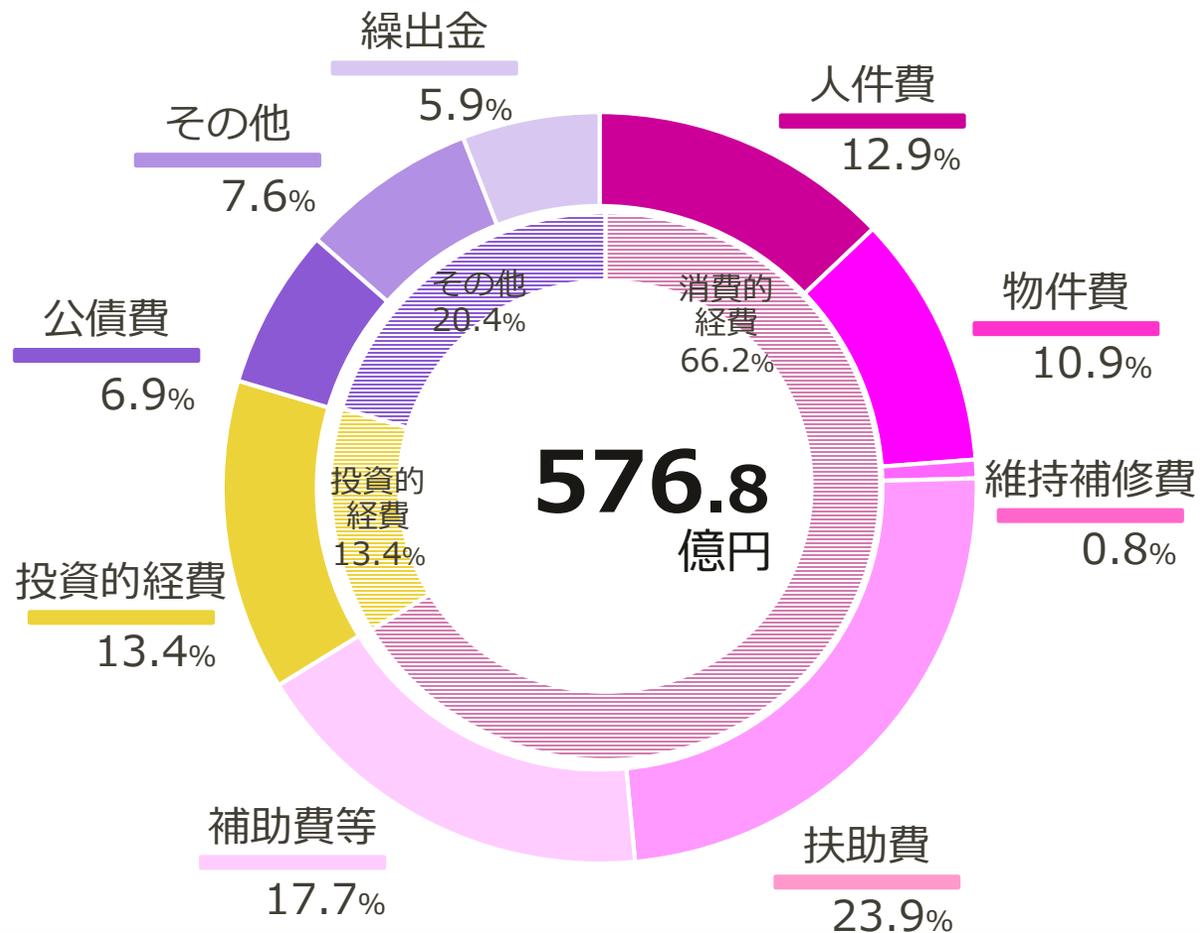
市税の推移



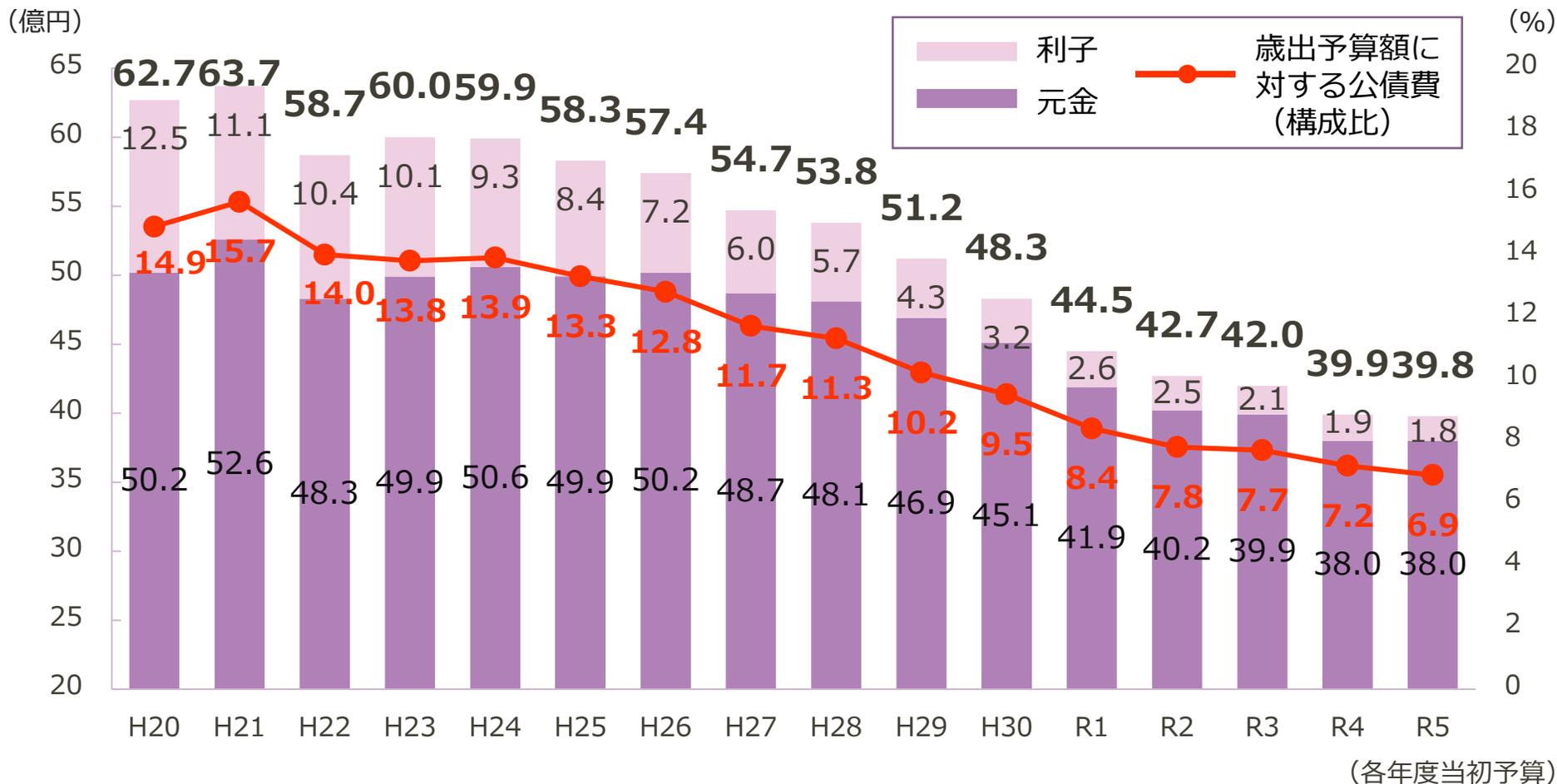
令和5年度 一般会計 歳出構成

(前年度増減率)

人件費	74.3億円	▲3.3
物件費	63.1億円	▲6.1
維持補修費	4.9億円	+3.1
扶助費	137.6億円	+4.8
補助費等	101.9億円	+10.5
投資的経費	77.5億円	+12.6
公債費	39.8億円	▲0.2
その他	43.4億円	+2.8
繰出金	34.3億円	▲1.0



一般会計 公債費の推移



H20年度

62.7億円



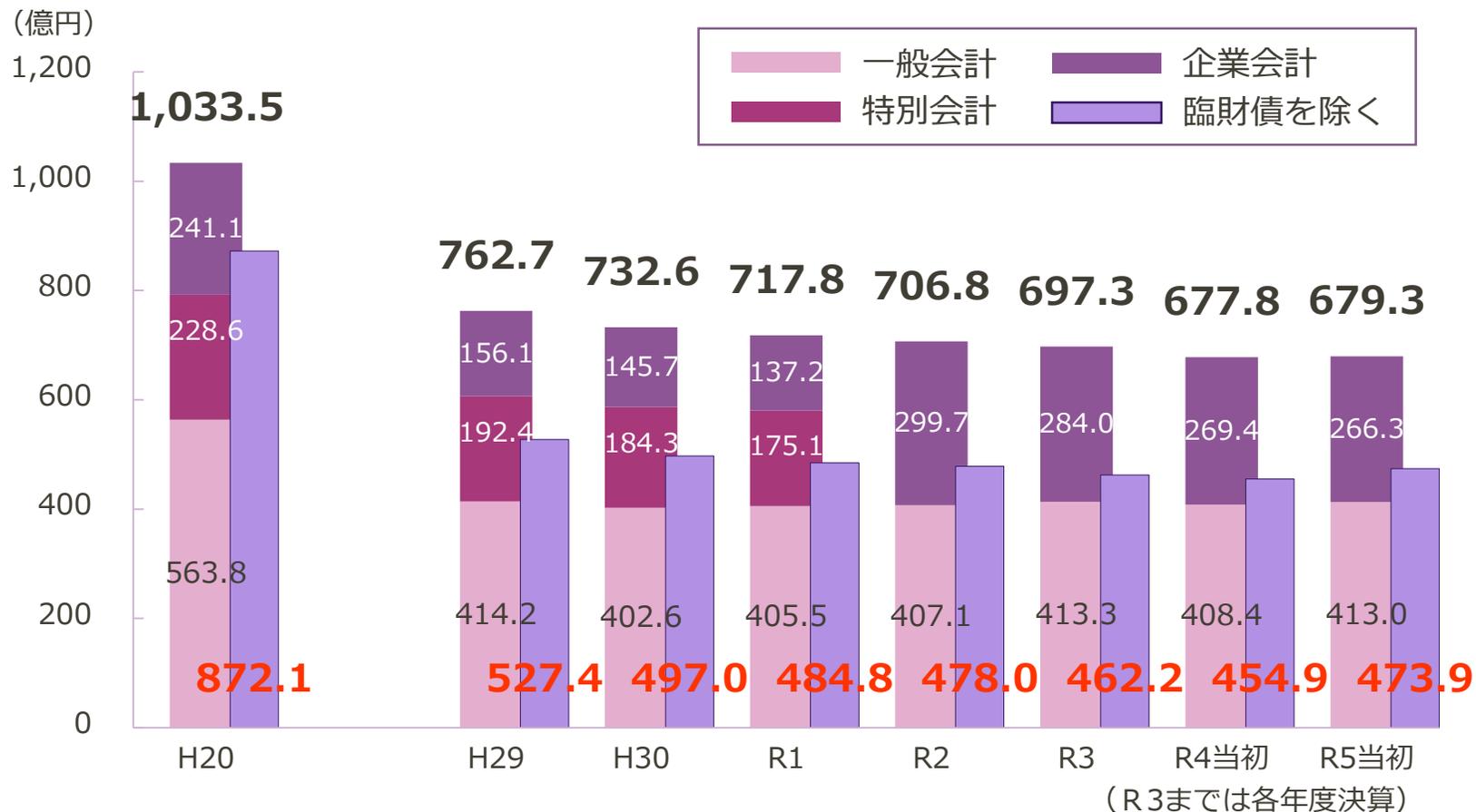
▲22.9億円

R5年度

39.8億円

市民サービスや
4 K施策に削減分を
重点的に活用

各会計別 市債残高の推移



臨時財政対策債等を除く
全会計市債残高合計

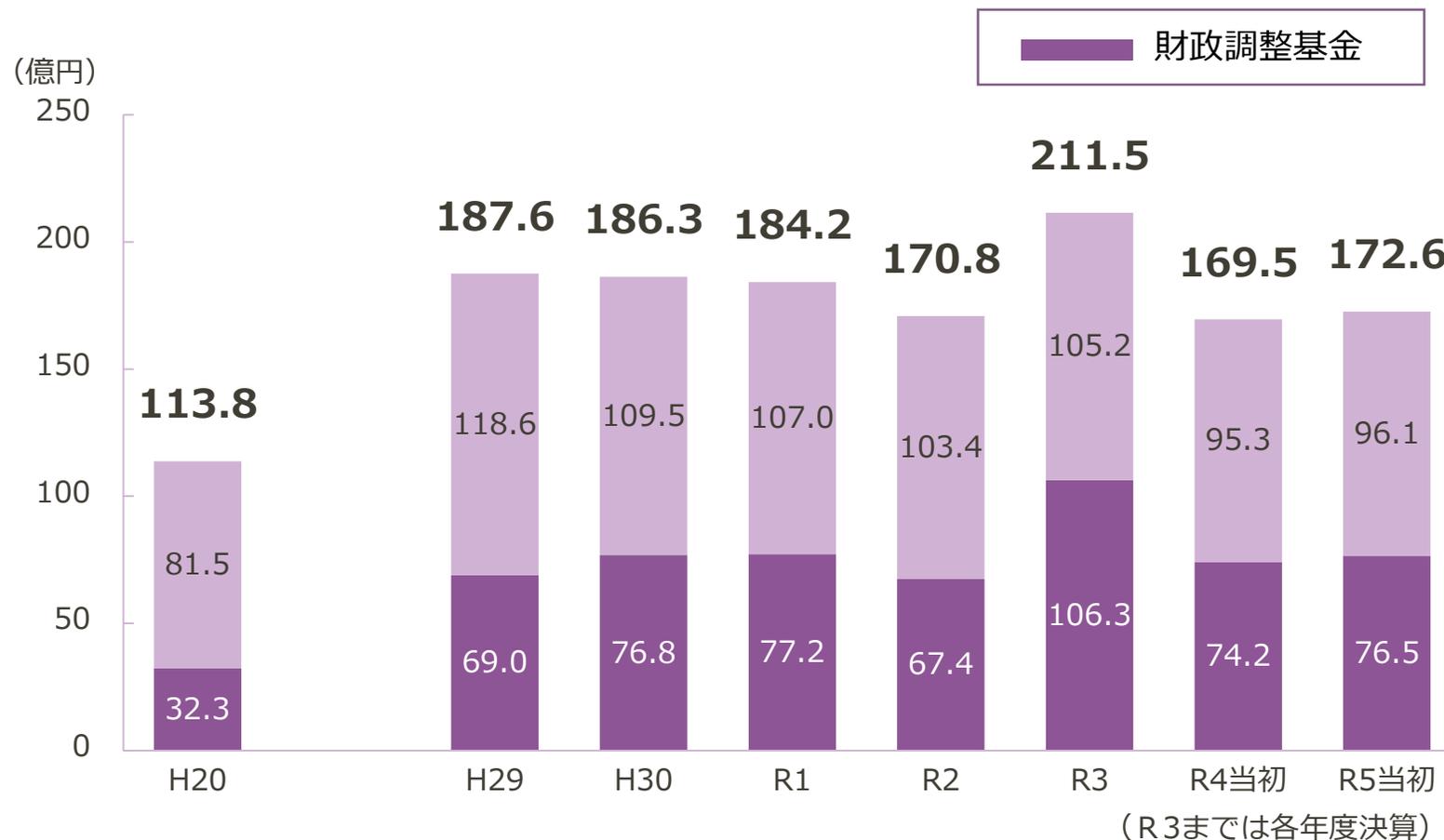
H20年度
872.1億円

↓ **▲398.2**億円

R5年度当初
473.9億円

継続的な市債残高縮減と、必要となる大型プロジェクトの積極的な推進を両輪に
市債残高は目標の500億円以下を維持し、バランスを保ちつつ推移

基金残高の推移



基金残高の合計

H20年度

113.8億円



+58.8億円

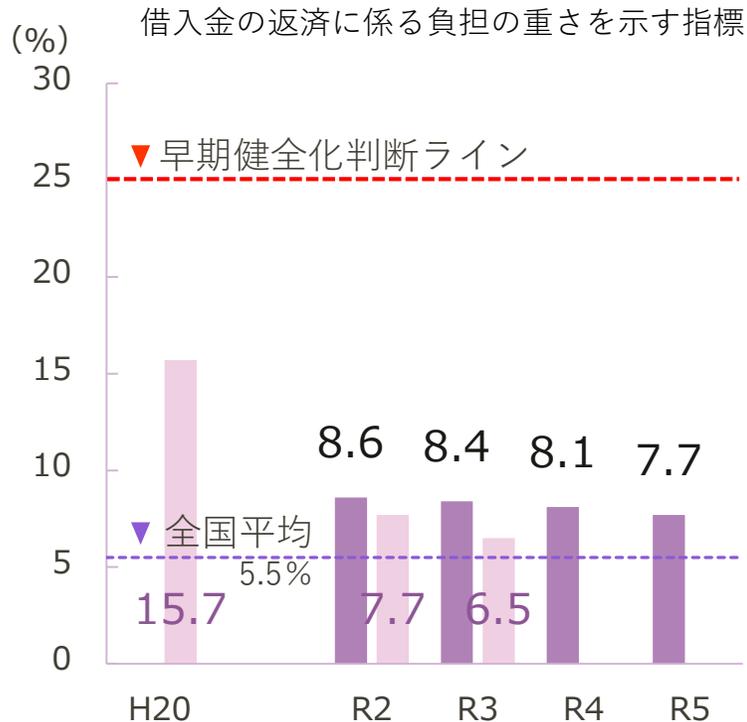
R5年度当初

172.6億円

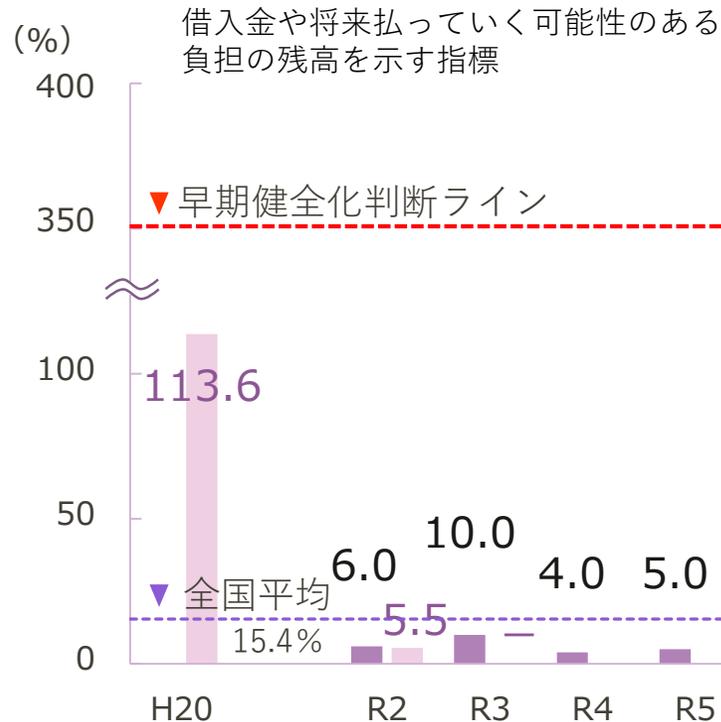
事業目的に合わせて
基金を積み立て
必要な財源を確保

各種指標の推計

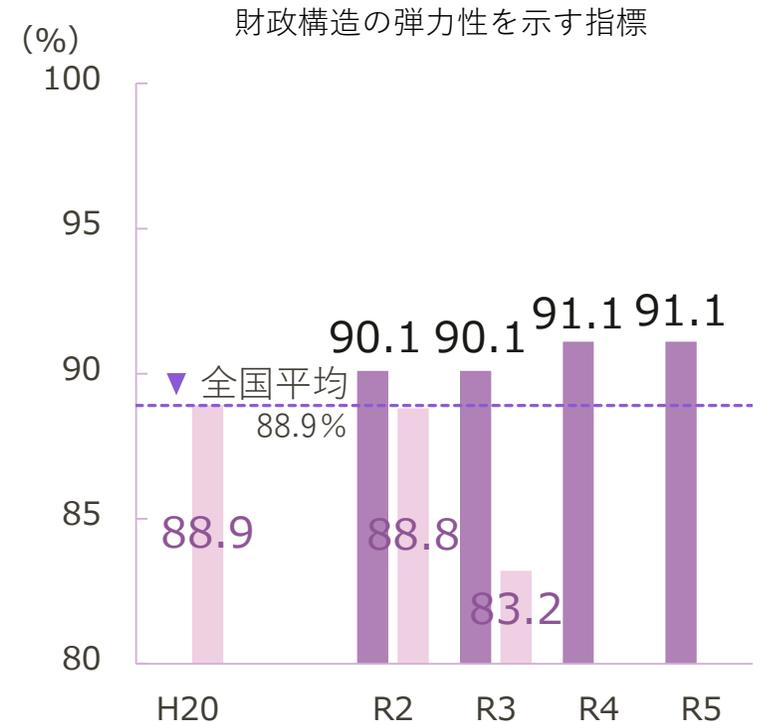
実質公債費比率



将来負担比率



経常収支比率



“必要な事業の推進”と“財政健全性”とのバランスのよい財政運営により

健全化判断比率は健全な範囲内で安定的に推移

■ 当初予算ベース
 ■ 決算ベース
 ※全国平均はR3年度決算ベース

行政組織に関する方針

“幸せになるまち”の実現へ

「未来への成長基盤づくり」と
「次代を担う人づくり」を戦略的かつ
機動的に進める組織体制への転換

市民の健康を 徹底して守る組織体制

コロナウイルス対策課を「**感染症対策課**」に改編

- ・新型コロナウイルスをはじめ、全ての感染症への対応や各種予防接種業務を一元化し、市民の健康・予防対策を強化

こども・子育て家庭を包括的に サポートする組織体制

「**藤枝市こども家庭センター**」を開設

児童課を「**こども課**」に改編し、

「**保育統括担当参事**」を配置

- ・子育ての包括的な相談体制を構築
- ・保育施設の監督・指導、人材育成を強化

将来に向け都市の価値を高め 発展につなげる組織体制

都市建設部内に「**旧市街地活性化推進室**」を新設

- ・藤枝旧市街地の総合的なまちづくりに本格着手し、暮らしと歴史文化の再生を推進

行政組織に関する方針 (主な組織改編内容)

部・局	課・室	係・担当	狙い
企画創生部			
広域連携担当理事【新設】			地域間連携や国・県等との調整・連携、リニア等広域的事業への対応を統括
スポーツ文化観光部	サッカーのまち推進課	Jリーグ担当【新設】	Jリーグクラブを核としたまちづくりによる地域活性化を推進
健康福祉部			
こども未来応援局	こども課【改編】 保育統括担当参事【新設】	こども企画担当【新設】	児童課を改編。こどもの健やかな成長支援、子育て家庭の包括的な支援を強化 安全・安心な保育環境づくりを強化
健やか推進局	感染症対策課【改編】		コロナウイルス対策課を改編。感染症対応、予防接種業務を一元化
都市建設部	旧市街地活性化推進室【新設】		都市政策課内に新設。旧市街地総合再生や立地適正化等、市街地活性化を推進

職員体制の充実

市民・職員が幸せを実感できる“日本一の市役所づくり”を実現するための「人づくり」を推進

“日本一の市役所づくり”に向けた人財の適正配置 施策推進、組織活性化に向けた職員力の向上

●職員数

778人 (+8人)

市民が幸せを実感できる実効性のある施策の展開に向け、必要な職員数を確保し、各部署に適切に人財を配置する

●体制を強化して展開する主な施策等

- ・ こどもの尊厳や健やかな成長を守り支える取組の推進
- ・ 魅力的で持続可能な旧市街地再生の推進
- ・ あらゆる感染症から市民を守る予防と対策の推進
- ・ 新たな魅力の創出や来訪人口の拡大など更なるサッカーのまちづくりの推進

●デジタルを活用した研修の充実

- ・ 自身の強みをデジタルツールで可視化し、組織で最大限発揮するための研修を実施
- ・ 市役所のDX推進に向けた研修動画を作成し、全職員を対象に配信
- ・ 通常の対面研修と併せ、時間と場所に縛られないeラーニング研修を実施

●幅広い分野の団体との人事交流・派遣

- 職員の視野拡大、専門力の習得及び幅広いネットワークを構築するため、人事交流・派遣を実施
12団体
- ・ 国（環境省・国交省）・県（県庁・東京事務所）
 - ・ 他自治体 ・ 各種団体（クレア、J-LIS等）
 - ・ 民間企業（静岡銀行、静岡鉄道等）

2 重点戦略事業

I コンパクト+ネットワーク のまちを創る

多彩な魅力を放つ拠点を創る



左：駅前一丁目6街区 右：駅前一丁目9街区（イメージ）

中心市街地再開発の推進

1億6,458万円

中心市街地再開発の早期事業化を推進

- ・ 駅前一丁目6街区（0.3ha）
現況測量、建物調査、事業計画作成
R7 着工 R9 竣工
- ・ 駅前一丁目9街区（0.3ha）
実施設計、権利変換計画作成
R6 着工 R8 竣工

陶芸村拠点施設の整備の推進

4億4,500万円

中山間エリアに新陶芸センターと道の駅を整備

- R5 造成工事
建物実施設計（新陶芸センター、道の駅）
- R6 建築工事
- R7 外構工事 供用開始

拠点同士をつなげるネットワークを創る

仮宿高田線道路整備事業費 2億5,480万円

クリーンセンター事業等に合わせた道路整備

- ・ 道路工 L=150m ・ 道路詳細設計 1式
- ・ 切土法面工 L=480m ・ 先行載荷盛土工 L=480m
- ・ 載荷盛土動態観測業務委託 1箇所

天王町仮宿線道路整備事業費 2億1,900万円

仮宿高田線、藤枝バイパスの整備に合わせた道路整備

- ・ 道路工 L=400m ・ 用地買収 A=2,284㎡
- ・ 物件補償 N=1式

志太中央幹線道路整備事業費 2,300万円

旧国道1号以南（立花・田中工区）の道路整備

- ・ 橋梁詳細設計 1式
- ・ 地質調査 1式



仮宿高田線・天王町仮宿線

品格と魅力のある都市空間を創る

《組織》

都市建設部内に「旧市街地活性化推進室」を新設

旧市街地総合再生や立地適正化等、市街地活性化に向けた取組を一元的に推進する体制を構築

New

旧市街地総合再生の推進

1億1,200万円

旧市街地総合再生基本計画に基づく整備の推進

○道路施設高質空間の形成

旧東海道周辺の裏道等の再整備

○岡出山小路の整備

旧東海道から裏道へと続く小路の整備

New

無電柱化推進事業費

500万円

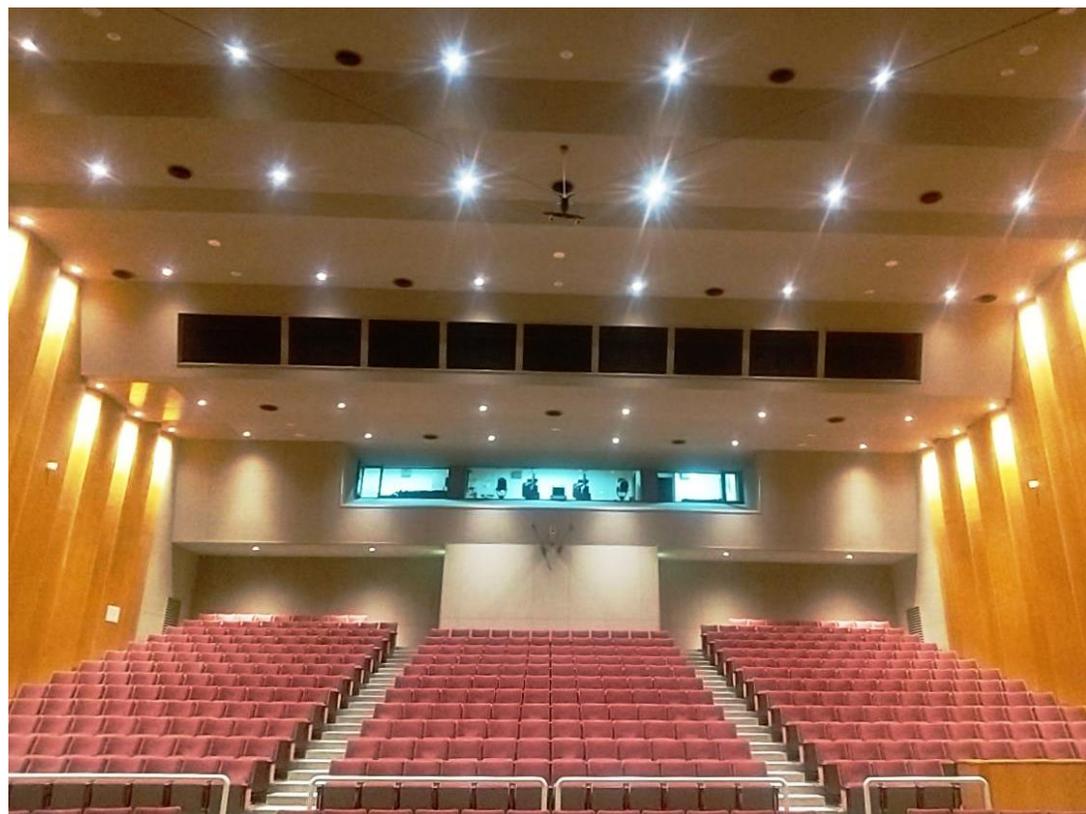
無電柱化の推進のための計画策定

- ・基本方針の策定
- ・優先整備路線 他



既存道路の無電柱化（整備イメージ）

“環境日本一”のまちを創る



公共施設のLED化の推進

New

公共施設等脱炭素化推進事業費 **4,764万円**

公共施設のLED化によるゼロカーボンシティの推進

R5：改修工事 藤の里トンネル

R5：調査及び実施設計 R6：改修工事

地区交流センター（稲葉、西益津、青北、青南、高洲）、
郷土博物館・文学館、田中城下屋敷、志太郡衙、
きすみれ、小学校17校

R6：調査及び実施設計 R7：改修工事 中学校10校 他

New

住宅省エネ改修推進事業費 **1,540万円**

既存住宅の省エネ化に伴う支援

- ・省エネ診断 既存住宅の省エネ診断を無料で実施
- ・省エネ設計補助金 補助率 2/3 補助上限額 38.8万円
- ・省エネ改修補助金 補助率 23%
補助上限額 76.6万円～102.5万円

“環境日本一”のまちを創る

New

河川愛護事業推進事業費

420万円

地元負担軽減に向けたラジコン式草刈り機の導入

ラジコン式草刈り機を導入し、河川等の草刈りを実施する団体に貸し出すことで、草刈りにおける負担の軽減を図る

- ・ラジコン式草刈り機 1台

プラスチック使用製品廃棄物循環促進事業費

4,500万円

一般家庭のプラスチック使用製品ごみの収集・資源化を促進

収集日：資源・不燃ごみ収集日（月1回）

収集物：衣装ケース、バケツ、食器、文房具等

収集後のプラスチックは固形燃料（RPF）製品として資源化



ラジコン式草刈り機

“環境日本一”のまちを創る

クリーンセンター整備の推進

3億8,054万円

志太広域事務組合によるクリーンセンターの整備費の負担

建設事業費 242億5,050万円

スケジュール

- R5 造成工事、建築確認申請、
- R5～R6 地下工事（杭・基礎）
- R6～R8 建築工事、プラント工事
- R8 外構工事、試運転
- R9.1～ 稼働



新たなクリーンセンター（イメージ）

安全・安心な災害に強いまちを創る



原子力防災訓練（イメージ）

災害に備えた訓練の強化

520万円

災害時への備えとしての防災訓練を実施

- 総合防災訓練（9月）
夜間避難を想定した防災訓練を実施
- 地域防災訓練（12月）
メイン会場において、倒壊家屋からの救出訓練を実施
- 原子力災害避難訓練（9月または12月）
避難計画に基づく避難経路所運営や県外避難路確認訓練

災害時避難行動要支援者支援対策の推進

238万円

災害時の避難行動に支援が必要となる方の備えに対する支援

- 個別避難計画作成推進モデル事業の促進
- 避難行動要支援者個別避難計画作成に係る意向調査** *New*
- 避難行動要支援者台帳の整備

安全・安心な災害に強いまちを創る

茶町大谷線（原）整備事業費

2億4,000万円

道路法面の崩土対策の推進

- ・擁壁工 L=92m
- ・法枠工 A=543m²

飲料水供給施設維持管理費

500万円

給水区域外の民間小規模水道の維持等への支援

- 補助率 1/2（上限100万円）
- 対象経費 施設の修繕、水質悪化等に伴う施設の更新
柵による人畜の侵入防止策等
- 対象者 小規模水道使用者



道路法面の崩土対策（茶町大谷線）

安全・安心な災害に強いまちを創る



駅周辺のマンション

中山間地域避難所環境の強化

6,320万円

中山間地の避難所への非常用発電設備の整備

- ・ 設計業務委託 瀬戸谷小、瀬戸谷中
- ・ 設置工事費 葉梨西北小、朝比奈第一小

New

マンション認定計画作成支援事業費

60万円

民間マンションの適正管理を促進

- ・ 市マンション管理適正化計画に基づき、マンション管理組合が作成する認定計画作成費用の一部を補助
補助率：1/2 上限20万円
計画記載事項：管理組合の規約、経理、長期修繕計画
- ※認定申請手数料は当分の間徴収しない

“交通安全日本一”のまちを創る



自転車ヘルメットの着用促進

交通安全日本一推進事業費

2,900万円

交通安全日本一に向けた取組を推進

- **自転車ヘルメット取得支援** *New* **★県内初★**
自転車用ヘルメット取得に2千円を補助
対象：高校生以上の市民（市内に通勤通学する者を含む）
- **高齢者交通安全教室（サポカー体験会）** *New*
自動車学校教習コースを使用した体験会・講習会
- **AIを活用した事故発生リスクの予測** *New*
損保の事故蓄積データからAIで通学路危険箇所マップを作成

通園路等事故対策事業費

400万円

通園路等への交通安全施設の整備

- ・キッズゾーンの整備（路面標示、区画線等）
いなばこども園、高洲幼稚園の周辺

Ⅱ 産業としごとを創る

力強い地域産業と雇用を創る



有機で栽培する茶園

有機農業産地づくり推進事業費

550万円

オーガニックビレッジ確立に向けた取組を推進

有機農業の生産から消費までのサイクルを確立

- ・ 小中学校及び保育所等へ有機茶ティーバッグ等を配布
- ・ 学校給食へ有機米を一部導入
- ・ 有機茶のJAS認定、残留農薬検査を支援

New

農業経営効率化推進事業費補助金

200万円

農業の省力化、生産性向上に資する機器購入への補助

対象者 : 農業者の組織する団体

補助対象 : 農業の効率化に資する機器の購入経費
(自動抑草ロボ、自律走行式草刈機等)

補助率 : 1/2 上限50万円

力強い地域産業と雇用を創る

New

藤枝どぼくらぶ推進事業費

100万円

建設業を担う人材の確保に向け、魅力ややりがいをPR

藤枝建設業協同組合と市が連携し、
土木の重要性や仕事としての魅力を広く発信し、
将来の人材確保・育成を推進

- ・ 出前講座・現場見学会（小学生、中学生対象）
- ・ 若手、女性技術職員の交流会「ドボカフェ」
- ・ 建設産業のイメージアップに向けたイベント
重機の操作体験やものづくり体験により
“土木”を体感できるイベントを開催
- ・ 若年層に向けた情報発信、PR



※藤枝建設業協同組合と市が中心に、
建設業の担い手と人材育成に取り組む
「藤枝どぼくらぶ」を発足（R4.11）



土木を体感できるイベント

新たな産業、独自のビジネスを創る

New

企業間連携ビジネス創出支援事業費 575万円

首都圏企業等の誘導、企業間連携で市内産業の成長を促進

- ・ピッチイベント
首都圏企業と市内企業の交流の場を創出し、地域課題等の掘起しと解決に取り組む
- ・ビジネスプランコンテスト
地域課題の解決や市内産業の発展につながるビジネスプランを募集し、受賞者には賞金及びコワーキングスペース1年間無料利用や法人登記経費等を支援

New

岡部町内谷地区工業用地整備の推進 4,400万円

岡部町内谷地区への企業誘致の推進

- 工業用地可能性調査
- 焼津岡部線、三輪立花線整備に係る測量等
- 都市計画変更協議資料の作成



岡部町内谷地区

ICTでひととしごとを呼び込むまちを創る



デジタル支援員によるサポート

デジタル活用サポート事業費

1,450万円

高齢者等のデジタルデバイドの解消を促進

- デジタルサポート事業
地区交流センター等市内13施設にデジタル支援員を配置し、デジタルデバイド解消に向けたサポートを実施
期間：週1～2回 9時～13時

13施設中7施設を週2回に拡大 **拡充**↑

- デジタル活用サポート講座

ICT活用観光推進事業費

238万円

ICTを活用し、新たな来訪者獲得や関係人口の増加を促進

- デジタルスタンプラリーの実施
 - ・チェックポイントの通過をGPSで把握できる民間アプリを活用しハイキングコースを設定 (R5：3コースに増設) **拡充**↑
- 「旅+お手伝い」を通じた地域のファンづくり
 - ・人手不足の地域産業と地域を旅したい、地域で働きたい若者等をマッチングするweb上の民間サービスを活用

地域で活躍する“ひと”を創る

藤枝市民大学事業費

1,230万円

多様な学びのニーズに応える講座を市民大学として展開

○一般教養コース

「生涯現役・生涯活躍のまち」に向け、社会生活における基礎知識や郷土藤枝について、多様な学習機会を提供

○リカレント教育コース

学生や社会人を対象に、ビジネスやキャリアアップ、起業に役立つリカレント講座を実施

○資格取得コース

起業や再就職、リスキリング、スキルアップなどビジネスや社会活動で実践的に活用できる技術や資格取得を促進

資格取得コースを履修し、資格に合格した者に報奨金を交付 (1万円/1資格) New

※R5年度は5月上旬から全コーススタート



藤枝市民大学 (資格取得コース)

地域で活躍する“ひと”を創る

New

働きやすい職場環境づくり事業費

500万円

男性育児休業の取得の促進

○男性育休取得支援助成金

対 象：男性育休を取得させた中小企業

助成額：5万円

○働き方改革を進めたい企業にアドバイザーを派遣

○市、商工会議所、商工会による事業所ヒアリング

従業員労働環境改善事業費

450万円

従業員の労働環境や人材育成を図る企業への支援

・労働環境改善事業費補助金

・資格取得支援事業費補助金

対 象：従業員に資格取得させる市内事業所

補助率：国家資格 1/2（上限10万円）

任意の資格 1/3（上限5万円）New



育児参加に向けた男性育児休業の取得促進（イメージ）

地域で活躍する“ひと”を創る



頼れる介護人材の育成・確保

New

障害者キャリアアップ支援事業費

100万円

障害者の職場適応援助や正社員化の促進

- ・ 障害者キャリアアップ支援奨励金
対 象：障害者の正社員化、処遇改善を実施した中小企業
補助額：7.5万円～20万円（国補助に上乗せ）
- ・ ジョブコーチ育成奨励金
対 象：従業員が養成研修を修了した中小企業
補助額：8千円×日数/人

New

介護人材確保対策事業費補助金

200万円

介護人材の確保及び定着の促進

- ・ 初任者、実務者研修、介護福祉士登録料への補助
対 象：市内事業所に1年以上従事した者又は雇用する事業所
補助額：上限5万円

将来に向け市役所の基盤を創る

New

外部人材の活用

1,320万円

外部人材のノウハウや人脈などを市政に活用

- 拠点間連携コーディネーター
首都圏企業や人材の誘導、交流を促進
- 公園の魅力づくり仕掛け人
人を呼び込むためのエンターテインメント性の創出
- 食と農のまちづくりコーディネーター
 - ・仮宿地区アグリパーク整備に関わる企業誘導
 - ・6次化産品等のダイレクトマーケティング支援

次世代型新庁舎整備構想づくりの推進

次世代の新庁舎整備に向けた検討を継続実施

- 新庁舎整備構想の策定 200万円
基本構想原案の作成、プロジェクトチームによる調査
- 庁舎整備基金積立金 5億142万円
新庁舎の建設に備えて基金を積み立て



現在の市庁舎

Ⅲ ひとの流れを創る

移住・定住の大きな流れを創る

子育てファミリー移住定住促進事業費 1億2,300万円

子育て世帯の移住定住を促進

- ・ 高校生以下の子どもを持つ移住定住世帯に対し補助
補助対象：新築住宅、新築分譲マンションの取得
及び移転に係る経費
補助率等：1/2 上限30万円～50万円

三世帯同居・近居加算 30万円 New

空き家活用・流通促進事業費 6,900万円

空き家の流通促進を通じて移住定住を推進

- ・ 空き家（中古マンション含む）購入、改修に対し補助
補助率等：対象経費1/2 上限30万円～70万円

子育て世帯の市内転居（改修）30万円⇒50万円 **拡充↑**

三世帯同居・近居加算 30万円 New



空き家のリフォーム（上：改修前/下：改修後）

移住・定住の大きな流れを創る



中山間地域に移住した子育て世帯

空き家バンク推進事業費

530万円

空き家への誘導を通じて中山間地域への移住定住を推進

- ・ 空き家バンクに登録された中山間地域の空き家の改修、引っ越し費用に対し補助

補助対象：空き家改修費用、引っ越し費用

片付け費用を補助対象に追加 *New*

補助額等：子育て世帯 50万円⇒70万円



その他世帯 30万円⇒50万円

- ・ 物件及び改修物件の見学会
- ・ 空き家、空き地の登録促進

地域全体で大きな交流を創る



サイクルツーリズムの様子



プロスポーツ観戦（Jリーグ）

New

自転車を活用したまちづくりの推進

650万円

自転車を活用したスポーツ、観光などを推進

- 自転車活用推進計画の策定（R5～R6）
スポーツ、観光、環境、健康、施設整備等の複合計画
- バイシクルピットの設置
公共施設に自転車固定用ラック、修理工具等を設置

コンベンション等誘致促進事業費

1,000万円

コンベンション誘致による観光振興や市内経済を活性化

- コンベンション等実施事業費補助金
補助要件緩和と補助額拡大（1千円⇒3千円）**拡充**↑
- プロスポーツ観戦宿泊費補助金** **New**
観戦者で市内に宿泊する者に、宿泊費最大3千円を補助

“藤枝の宝”を活かしたまちを創る



市制施行当時の様子

New

市制70周年記念事業費

500万円

市制施行70周年を記念する各種取組を推進

- ・ 実行委員会の設置
- ・ ロゴマークの制作
- ・ 記念動画の制作 等

※市制施行 S29.3.31



史上初の高校サッカー三冠達成／藤枝東高校サッカー部

New

藤枝サッカー100周年記念事業費

1,000万円

藤枝サッカー発祥から100周年を記念した事業の推進

- ・ 記念誌等の作成
- ・ 藤枝サッカーの歴史を伝えるデジタル教材の制作
- ・ 市内を彩るシティドレッシング

“藤枝の宝”を活かしたまちを創る



藤枝大祭り前夜祭の様子



龍勢の打ち上げの様子

New

藤枝大祭りの開催支援

500万円

藤枝大祭りの開催に対し支援

開催日：R5.10.6（金）～10.8（日）

- ・前夜祭（R5.10.1（日））
- ・山車の引き回し
- ・飽波神社大祭の奉納踊り
- ・長唄 他

朝比奈大龍勢イベント事業費補助金

朝比奈大龍勢の開催に対し支援

開催日：R5.10.21（土）

- ・ 棧敷席や物産会場の設置による賑わいの創出 500万円
- ・ 情報発信と文化伝承に向けた(仮)龍勢記念館設置の支援 300万円

市民が安心便利に暮らせる環境を創る



電話機への特殊詐欺防止装置の設置

市民の外出・移動支援の充実 1,562万円

市民の日常生活における移動手段を重層的に支援

- バス停型乗合タクシーの延伸
(藤枝駅広幡線、五十海市立総合病院線) ↑ 拡充
- 交通空白地域等通院送迎支援事業費補助金 New
高齢者等の無料通院送迎を行う医療機関等へ燃料費を支援
補助額：上限12万円/団体

地域防犯活動推進事業費 680万円

市民を犯罪等から守る取組の推進

- ・犯罪多発地域への防犯カメラの設置
- ・特殊詐欺対策 (AI特殊詐欺対策、ナンバーディスプレイ等)
- ・自転車盗難撲滅の啓発

犯罪被害者等支援事業費 100万円

犯罪被害者に対する支援の推進

- ・生活再建のための物品貸与
- ・見舞金 死亡：30万円 重症病：5万円⇒10万円 ↑ 拡充

IV 健やかに暮らし活躍できる まちを創る

出会いと子どもを守り支える環境を創る

《組織》

「こども家庭センター」を開設
 児童課を「こども課」に改編し、
 「保育統括担当参事」を配置

児童福祉と母子保健を一元化し、妊産婦から子育てまでをこどもを中心に包括的に支援する体制を構築
 また、保育士の人材育成、働きやすい環境づくりなど、保育現場への対応を強化



妊娠時のきめ細かな面談

New

移住・婚活事業費 1,000万円

結婚に向けた出会いの場を創出
 首都圏企業と連携し、首都圏在住女性に本市の魅力をPRし、本市在住の男性との出会いの場を創出
 ・移住婚活ワークショップ、婚活バスツアー等

妊娠出産・子育て応援事業費 8,552万円

妊娠出産子育てまでの伴走型相談支援と経済的支援を一体的に推進
 ・妊娠届出時及び8か月の面談、出生後の全戸訪問面談
 ・出産応援交付金5万円、子育て応援交付金5万円

New

子育て世帯家事支援事業費 178万円

家事育児に不安のある家庭への支援
 家事育児に不安や負担を持つ家庭を訪問し、家事や育児を支援（食事準備、洗濯、掃除、買い物代行、保育所送迎等）

出会いと子どもを守り支える環境を創る

多子世帯の保育料の軽減 保育料軽減額：約6,100万円

保育料軽減により多子世帯の経済的負担を軽減

きょうだいの在園の有無や世帯所得等に関係なく、**拡充**
第2子半額、第3子以降は無料

New ★県内初★

保育所等おむつ収集経費 850万円

保育所等からの保護者のおむつ持ち帰り負担を軽減

市内保育施設等58園に専用ダストボックスを設置し、
使用済みのおむつを回収

New

小規模保育事業所雇用安定化事業費補助金 1,000万円

小規模保育所の保育士の継続雇用に対する支援

定員に満たない入所児童数の小規模保育事業所が、
定員に必要な保育士等の雇用に係る費用の一部を補助
補助額：3.6万円/月×人数



保育の様子

出会いと子どもを守り支える環境を創る



(仮) 高洲こども園 (イメージ)

岡部みわ保育園整備事業費

1億380万円

公立岡部みわ保育園の建替整備の推進

建設事業費 5億1,860万円

R5.10～ 建設工事

R7.4 供用開始予定

認定こども園施設整備への支援

4億6,041万円

高洲幼稚園の認定こども園化に伴う施設整備への支援

建設事業費 10億5,348万円

R5 建設工事

R6.4 供用開始予定

“教育日本一”のまちを創る



部活動の様子（女子ソフトボール）

New

部活動地域移行推進事業費

157万円

部活動の段階的な地域移行を推進

- ・ 地域部活動推進コーディネーターの配置
- ・ 地域部活動在り方検討委員会の設置
- ・ 地域部活動推進委員会の設置

学校施設環境の充実

1億8,495万円

子どもたちが快適な学校生活を送るための環境を整備

- トイレ環境改善事業費
設計：藤枝中、葉梨中、岡部中
改修：藤枝中央小、高洲小、青島北小（1億3,340万円）
- 空調設備整備事業費
設計：藤枝小、青島小、高洲小、高洲南小、青島北小
整備：西益津中、大洲中、青島北中（4,110万円）

“教育日本一”のまちを創る

学校給食地産地消推進事業費

126万円

学校給食を通じた地産地消を推進

- ・ 親子料理教室
- ・ **地産地消コーディネーターの設置 *New***
給食に必要なロット数などを生産者と共有
直接納入が可能な生産者を掘起し、納入方法や
価格などの協議を実施

新学校給食センター整備事業費

4億4,720万円

新たな給食センターの整備の推進

- R5 用地取得、実施設計
- R6 用地造成
- R7～建設工事



学校での給食の様子

“健康・予防日本一”のまちを創る

《組織》

コロナウイルス対策課を「**感染症対策課**」に改編

あらゆる感染症や予防接種業務に一元的に対応する体制を構築



食品における食塩相当量のチェック（イメージ）

中小企業福祉サービス事業助成費 1,500万円

中小企業勤労者の福祉の増進

- ・ 会員に対する人間ドックと生活習慣病等の健診の助成に係る補助額を拡充 **拡充↑**

健康経営プロジェクト推進事業費 1,000万円

健康経営を通じて市民の健康寿命の延伸を推進

- ふじえだ健康マイレージ
- 健幸測定事業（体組成測定）
- 健幸プロ派遣事業（講師派遣）
- “**効果適塩**”事業（高血圧対策） **New** **★県内初★**

市内事業所従業員を対象に事業所健診で推定食塩摂取量を測定し、結果を基に、プッシュ型のフォローアップを実施

帯状疱疹予防接種等の促進 600万円

任意接種を希望する対象市民への予防ワクチンの接種を促進

- ・ 帯状疱疹ワクチン
- ・ 高齢者の肺炎球菌ワクチン
- ・ HPV（子宮頸がん）ワクチン
- ・ 成人の風疹ワクチン

安定・安全で高度な医療体制を創る

《組織》

「脳卒中センター」を拡充

認定PSCコア施設（脳卒中医療中核施設）として、さらに救命率、社会復帰率を高める高度なチーム医療を提供

「IVR（血管内治療）センター」を新設

県中部地域におけるIVR中核施設として、迅速で、患者負担の少ない高度なIVR医療を提供

医療相談センター内に「患者相談室」を新設

様々な医療相談に一元的に対応し、患者や家族の不安解消、問題解決をサポートする体制の構築



緩和ケア病棟（イメージ）

（病院事業会計） 高度医療機器の導入

2億9,740万円

医療機器の更新・整備

- ・ PET-CT装置
- ・ 手術用顕微鏡
- ・ 白内障手術装置

（病院事業会計） がん医療提供体制の充実

3億801万円

がん患者に寄り添った医療を提供

- ・ 外来化学療法センターの拡充
- ・ 緩和ケア病棟の整備

スポーツ・文化を活かしたまちを創る



女子サッカー環境づくりの推進

《組織》

サッカーのまち推進課内に「Jリーグ担当」を新設

円滑なホームゲーム運営をサポートするとともに、Jリーグクラブを核としたまちづくりにより、交流人口の拡大や地域経済の活性化、人材育成を進めるための体制の構築

総合運動公園の整備・改修

2億円

総合運動公園の整備・改修による機能強化

- ・サッカー場屋根付き観客席増設工事（R5.12完成予定）

なでしこ育成事業費

86万円

藤枝独自の女子サッカーの環境づくりを推進

- ・なでしこアカデミーの実施
- ・女子サッカー選手への住居支援 **New** ★県内初★
 - 補助率等：空き家 補助率1/2 上限4万円
 - 空き家以外 補助率1/2 上限2.7万円
 - ※補助期間は1年間

スポーツ・文化を活かしたまちを創る

New

家康ゆかりの地藤枝の発信

840万円

「どうする家康」放映に合わせた各種事業を展開

- 特別展「徳川家康と田中城」の開催
時期：R5.6～7
- 鷹狩イベント、歴史歌劇の開催
時期：R5.10～11
- 期間限定「鷹狩記念館」の設置
家康が鷹狩に訪れた田中城に設置
時期：R5.6～12

New

藤枝の鉄道遺産展示発信事業費

600万円

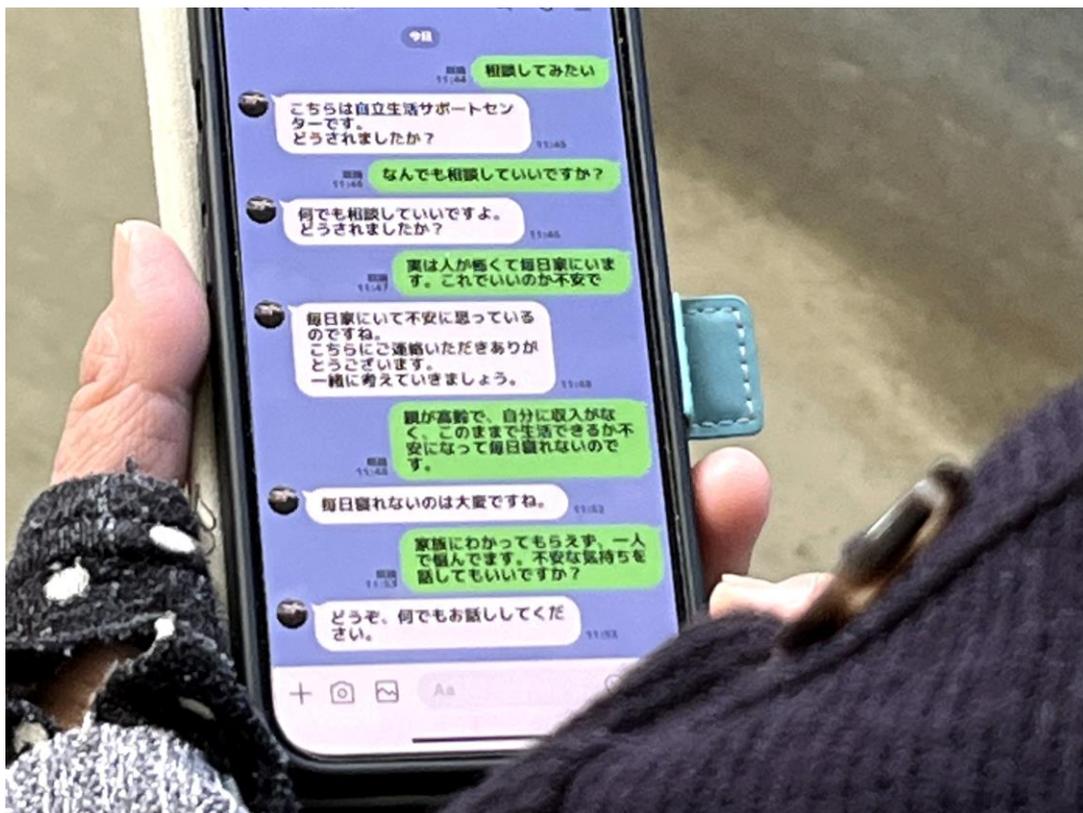
新幹線原点のまちとしての鉄道歴史の発信

- ・特急こだま、軽便駿遠線の模型の制作
模型及びパネルを駅自由通路内、郷土博物館に展示
- ・路線バスのラッピングによる情報発信



藤枝～金谷間で狭軌世界最高速度を達成した「特急こだま」

市民の誰もが活躍できるまちを創る



LINEを活用した相談対応

障害者テレワークオフィス支援事業費

200万円

障害のある方が安心して働ける環境づくりの推進

市内障害者テレワークオフィスに対して、
施設の運営費を補助

補助率：1/2 上限：60万円⇒200万円 **拡充**↑

※補助対象に人件費を追加

ひきこもり支援対策事業費

150万円

ひきこもり当事者や家族に対する支援

○LINEによる相談窓口の開設 **New** ★県内初★

気軽に抵抗感なく相談できる体制として、
LINEを活用した相談窓口を開設

3 その他の取組

新公共経営プロジェクトチーム

まちづくりのターゲット世代である若手職員が柔軟な発想や感性を発揮し、市政の改革・発展につながる施策を市長に提言

若者が自分らしく活躍できるまち

～将来にわたり活力あふれる藤枝～

- ①「教育」…生涯を通して意欲的に学ぶことができるまち
- ②「仕事」…いきいきと働き、自己実現ができるまち
- ③「子育て」…働きながらも安心して子育てできるまち
- ④「情報」…若者が情報を活用し、自分らしく活躍できるまち



分類	提言事項	令和5年度 実施内容	予算額
一人一人の理想の働き方を実現できるまちづくり	藤枝市民大学資格取得コースの充実による就職支援の強化	「資格取得コース」の講座数を13に拡充し、資格取得者に報奨金を交付（1資格1万円）	130万円
“孤育て”から、“みんなで子育て”に向けた環境整備	三世代同居・近居住宅取得促進助成制度の創設	三世代同居又は近居で、新築住宅又は空き家を取得した場合に、30万円の加算補助を実施	810万円
若者に響き、広がり、行き届く情報発信	プレスリリース配信代行サービスを活用した戦略的広報	PRTIMESの「プレスリリース配信サービス」を活用し、売りたい事業について20以上のネットメディアに転載	92万円

ふじえだガールズ・ミーティング

女子学生が若い女性ならではの視点で、女性が輝き活躍できる施策を提案



提言内容	
多世代が集まる “まちの魅力”の向上	マーケティング等の手法を取り入れた蓮華寺池公園の魅力と価値の向上
サッカーのまちの魅力 を高める“人材力”の向上	“女子サッカーのまち”のブランド強化と活躍できる環境づくり
女性が安心して活躍 できる“企業風土”の向上	夫婦がともに支え合い、働き続けられる環境づくり

市施策への反映
企業専門人材の活用 560万円
女子サッカー選手等住居 確保支援事業 80万円
男性育休取得促進事業 500万円

旅アプリ連動イベントの開催

歩き旅アプリとコラボし、若い女性視点で藤枝の魅力スポットを掲載メンバーによる“旅アプリ連動まち歩きイベント”を開催

蓮華寺池公園のフォトスポット開発

メンバーがデザインを考え、アイデアを提案イルミネーションに合わせ「手乗りれんげじ」が実現



女性活躍推進会議 フジエヌ

各部局から選出された女性職員が働きやすい職場環境づくりに向けて調査研究を行い、施策を市長に提言
 令和4年度に引続き男性職員との合同会議を設け、男女が共に仕事と家庭を両立できる働きやすい職場環境づくりに向けて調査研究を実施

ワーク・エンゲージメント^{※1}を 高める職場環境の実現

小さなことでも相談でき、ポジティブな心を持って働ける職場に！



サブテーマ	提言事項
エンパシー ^{※2} を磨き、 安心を生む職場の実現	コミュニケーションを 知る・身に付ける
	人・職場を知る 機会を創る
誰もが働きやすい 職場の実現	制度・実情を知る 機会を創る
	相談しやすい・相談に 乗りやすい体制を創る



令和5年度 実施内容
コミュニケーションスキルに特化した研修の開催
個人版・職場版プロフィール帳の作成・共有 「職場外OTサポーター（仮称）」の設置
育児休業をはじめとした仕事と家庭の両立支援に係る制度、 男性の育児休業取得の実情を学ぶ講座の開催
上司との「子育て面談（仮称）」の実施

※1 ワーク・エンゲージメント：仕事に対してのポジティブで充実した心理状態のこと

※2 エンパシー：自分と違う立場や価値観を持っている人が何を考えているのか想像する力

2月及び3月補正予算（予定）

2月補正予算

国補正予算によるもの

園児送迎バス安全対策事業費補助金	<u>100万円</u>
舗装長寿命化事業費	<u>5,885万円</u>
橋梁長寿命化・耐震化事業費	<u>2,000万円</u>
県施行事業費負担金（志太中央幹線）	<u>328万円</u>
急傾斜地崩壊対策事業負担金	<u>718万円</u>
公園施設長寿命化事業費	<u>3,000万円</u>

3月補正予算（予定）

国補正予算によるもの

小学校 トイレ環境改善事業費	中学校 空調設備整備事業費
-------------------	------------------

災害再査定によるもの

林道施設災害復旧整備事業費



安全で使いやすい遊具等への更新（公園施設長寿命化）

“幸せになるまち”藤枝へ

市民の皆様が
心穏やかに
幸せが実感できる
まちづくりのため

心技体を一致させ
さらに邁進します

令和5年度 当初予算案の概要

藤枝市 財政経営部 財政課



令和5年2月7日（火）



令和5年度 藤枝市当初予算案 〈概要〉

財政経営部財政課

令和5年度 藤枝市当初予算案の概要

○ 基本理念

『 幸せになるまち 藤枝づくり ～まち・自然・文化と共生 未来へ飛躍～ 』

○ 重点戦略

1. コンパクト^{プラス}+ネットワークのまちを創る
2. 産業としごとを創る
3. ひとの流れを創る
4. 健やかに暮らし活躍できるまちを創る

○ 予算の規模

一般会計	576億8,000万円	+19億 - 万円	+ 3.4%
特別会計(5会計)	298億7,000万円	+10億6,000万円	+ 3.7%
企業会計(3会計)	334億9,300万円	+33億4,400万円	+11.1%
全会計合計	1,210億4,300万円	+63億 400万円	+ 5.5%

○ 予算の特徴

1. 一般会計は過去最大の積極型予算を編成！

- ・必要事業の重点化と積極的な推進
- ・特定財源の確保と基金の有効活用
- ・事業推進と後年度負担とのバランスを考慮

2. 未来への成長基盤づくり

将来への投資となる施設整備を加速

- ・中心市街地の整備、旧市街地総合再生の促進
- ・陶芸村拠点施設、新たな工業団地の整備着手
- ・長期的な最重点施策クリーンセンター整備の本格化

3. 次代を担う人づくり

全世代に渡る、活躍する人づくりの推進

- ・妊産婦、子育て家庭、こどもの包括的な支援の促進
- ・多彩な学びの提供と多世代の学びへの参加促進
- ・官民挙げた日本一働きやすい職場環境づくり

○ 各会計の予算額

(単位:千円、%)

会 計 名	令和5年度 当初予算額(A)	令和4年度 当初予算額(B)	増 減		
			増 減 額 (A)-(B)	増 減 率 (A-B)/(B)	
一 般 会 計 (1)	57,680,000	55,780,000	1,900,000	3.4	
特 別 会 計 (2)	29,870,000	28,810,000	1,060,000	3.7	
国民健康保険事業	13,800,000	13,500,000	300,000	2.2	
土地取得	297,000	10,000	287,000	2,870.0	
駐車場事業	29,000	107,000	△ 78,000	△ 72.9	
介護保険	13,679,000	13,147,000	532,000	4.0	
後期高齢者医療	2,065,000	2,046,000	19,000	0.9	
企 業 会 計 (3)	33,493,000	30,149,000	3,344,000	11.1	
病院事業	収益的支出	20,835,000	19,538,000	1,297,000	6.6
	資本的支出	4,311,000	2,352,000	1,959,000	83.3
	計	25,146,000	21,890,000	3,256,000	14.9
水道事業	収益的支出	2,263,000	2,223,000	40,000	1.8
	資本的支出	1,642,000	1,517,000	125,000	8.2
	計	3,905,000	3,740,000	165,000	4.4
下水道事業	収益的支出	2,341,000	2,277,000	64,000	2.8
	資本的支出	2,101,000	2,242,000	△ 141,000	△ 6.3
	計	4,442,000	4,519,000	△ 77,000	△ 1.7
合 計 (1)+(2)+(3)	121,043,000	114,739,000	6,304,000	5.5	

※ 主な増減要因

国民健康保険事業：保険給付費 +3億8,459万円、事業費納付金 △8,070万円

土地取得：志太教育会館・岡上山公園再整備事業用地買戻し +1億7,787万円、
土地購入費 +1,735万円

駐車場事業：駅前駐車場解体工事費 △8,500万円、一般会計繰出金 +1,255万円

介護保険：保険給付費 +5億3,503万円

後期高齢者医療：広域連合納付金 +1,900万円

病院事業：[収益的支出] 給与費 +5億7,500万円、材料費 +4億5,200万円、経費 +2億9,040万円
[資本的支出] 医療機器購入費 +19億1,300万円(電子カルテ更新、PET-CT購入等)

水道事業：[収益的支出] 原水及び浄水費 +6,506万円(配水場等施設動力費 +6,655千円)
[資本的支出] 配水管布設費 △5,973万円、水源施設改良事業費 +1億9,708万円

下水道事業：[収益的支出] 施設費 +9,525万円(包括的民間委託料 +7,638万円)

[資本的支出] 公共下水道建設改良費 +5,029万円、処理場建設改良費 △9,241万円
特定環境下水道建設改良費 △1,862万円、企業債償還金 △8,232万円

○ 一般会計予算

(1) 歳入予算額の状況

ア 款別予算額

(単位:千円、%)

款	令和5年度 当初予算額(A)	令和4年度 当初予算額(B)	増 減	
			増 減 額 (A)-(B)	増 減 率 (A-B)/(B)
1 市 税	21,300,000	21,100,000	200,000	0.9
2 地 方 譲 与 税	407,000	415,000	△ 8,000	△ 1.9
3 利 子 割 交 付 金	6,000	8,000	△ 2,000	△ 25.0
4 配 当 割 交 付 金	82,000	51,000	31,000	60.8
5 株式等譲渡所得割交付金	71,000	99,000	△ 28,000	△ 28.3
6 法 人 事 業 税 交 付 金	132,000	126,000	6,000	4.8
7 地 方 消 費 税 交 付 金	3,440,000	3,092,000	348,000	11.3
8 ゴルフ場利用税交付金	19,000	18,000	1,000	5.6
9 環 境 性 能 割 交 付 金	36,000	62,000	△ 26,000	△ 41.9
10 地 方 特 例 交 付 金	126,000	121,000	5,000	4.1
11 地 方 交 付 税	3,260,000	3,200,000	60,000	1.9
12 交通安全対策特別交付金	26,000	27,000	△ 1,000	△ 3.7
13 分 担 金 及 び 負 担 金	179,420	201,470	△ 22,050	△ 10.9
14 使 用 料 及 び 手 数 料	365,060	373,200	△ 8,140	△ 2.2
15 国 庫 支 出 金	8,966,390	9,059,670	△ 93,280	△ 1.0
16 県 支 出 金	4,842,800	4,781,270	61,530	1.3
17 財 産 収 入	799,920	179,790	620,130	344.9
18 寄 附 金	1,519,650	1,516,010	3,640	0.2
19 繰 入 金	4,094,550	4,035,900	58,650	1.5
20 繰 越 金	1,000,000	1,000,000	0	0.0
21 諸 収 入	2,919,910	2,979,490	△ 59,580	△ 2.0
22 市 債	4,087,300	3,334,200	753,100	22.6
合 計	57,680,000	55,780,000	1,900,000	3.4

イ 主な増減要因

(単位:千円、%)

科 目	令和5年度 当初予算額(A)	令和4年度 当初予算額(B)	増 減	
			増 減 額 (A)-(B)	増 減 率 (A-B)/(B)
市 税	21,300,000	21,100,000	200,000	0.9
個人市民税	8,063,000	8,113,400	△ 50,400	△ 0.6
	個人所得の回復の鈍さによる個人所得割の減			
法人市民税	1,228,000	1,186,000	42,000	3.5
	企業業績回復による法人税割の増			
固定資産税	9,406,900	9,238,800	168,100	1.8
	家屋の新築及び増築による増、償却資産の増			
地方譲与税等各種交付金	4,345,000	4,019,000	326,000	8.1
	法人事業税交付金・地方消費税交付金の増			
地方交付税	3,260,000	3,200,000	60,000	1.9
普通交付税	2,660,000	2,600,000	60,000	2.3
	国の地方財政対策(通常収支分+1.7%)に基づき算出し計上			
特別交付税	600,000	600,000	0	0.0
国庫支出金	8,966,390	9,059,670	△ 93,280	△ 1.0
	新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 △3.6億円 子どものための教育・保育給付費負担金 +2.3億円			
県支出金	4,842,800	4,781,270	61,530	1.3
	保育所等整備事業費補助金 +1.8億円 子ども・子育て支援給付費負担金 +1.0億円 地域産業立地事業費補助金 △2.7億円			
繰入金	4,094,550	4,035,900	58,650	1.5
財政調整基金	2,880,000	3,100,000	△ 220,000	△ 7.1
減債基金	500,000	500,000	0	0.0
特定目的基金	602,000	435,900	166,100	38.1
	公共施設等総合管理基金 +1.7億円 私立幼児教育施設等整備助成基金 +0.2億円			
他会計繰入金	112,550	0	112,550	皆増
市 債	4,087,300	3,334,200	753,100	22.6
臨時財政対策債 (実質的な地方交付税)	390,000	800,000	△ 410,000	△ 51.3
	国の地方財政対策(通常収支分△44.1%)に基づき計上			
建設市債	3,697,300	2,534,200	1,163,100	45.9
	学校給食施設整備事業債 +3.8億円 廃棄物処理施設整備事業債 +3.1億円 環境管理施設整備事業債 +2.9億円			
令和5年度末市債残高の見込み(一般会計) 413.0億円 (繰越事業分除く)				
令和4年度末残高見込みより、約 2.8億円の増				

ウ 分析

(単位:千円、%)

項 目	令和5年度 当初予算額(A)	令和4年度 当初予算額(B)	増 減	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A-B)/(B)
一 般 財 源 の 額	35,556,900	34,946,519	610,381	1.7
構 成 比	61.6%	62.7%	△ 1.1%	—
特 定 財 源 の 額	22,123,100	20,833,481	1,289,619	6.2
構 成 比	38.4%	37.3%	1.1%	—

自 主 財 源 の 額	32,178,510	31,385,860	792,650	2.5
構 成 比	55.7%	56.2%	△ 0.5%	—
市 税	21,300,000	21,100,000	200,000	0.9
構 成 比	36.9%	37.8%	△ 0.9%	—
依 存 財 源 の 額	25,501,490	24,394,140	1,107,350	4.5
構 成 比	44.3%	43.8%	0.5%	—
地 方 交 付 税	3,260,000	3,200,000	60,000	1.9
構 成 比	5.7%	5.7%	0.0%	—
市 債	4,087,300	3,334,200	753,100	22.6
構 成 比	7.1%	6.0%	1.1%	—
うち臨時財政対策債 (実質的な地方交付税)	390,000	800,000	△ 410,000	△ 51.3
構 成 比	0.7%	1.4%	△ 0.7%	—

(2)歳出予算額の状況

ア 款別予算額

(単位:千円、%)

款	令和5年度 当初予算額(A)	令和4年度 当初予算額(B)	増 減	
			増 減 額 (A)-(B)	増 減 率 (A-B)/(B)
1 議 会 費	291,580	293,020	△ 1,440	△ 0.5
2 総 務 費	6,518,190	6,643,550	△ 125,360	△ 1.9
3 民 生 費	21,567,640	20,510,070	1,057,570	5.2
4 衛 生 費	7,007,610	6,732,000	275,610	4.1
5 労 働 費	2,230,650	2,243,130	△ 12,480	△ 0.6
6 農 林 水 産 業 費	1,572,020	1,228,710	343,310	27.9
7 商 工 費	974,020	1,465,090	△ 491,070	△ 33.5
8 土 木 費	6,748,270	6,737,810	10,460	0.2
9 消 防 費	1,518,750	1,472,400	46,350	3.1
10 教 育 費	4,627,680	4,151,150	476,530	11.5
11 災 害 復 旧 費	386,400	70,000	316,400	452.0
12 公 債 費	3,980,260	3,987,070	△ 6,810	△ 0.2
13 諸 支 出 金	56,930	46,000	10,930	23.8
14 予 備 費	200,000	200,000	0	0.0
合 計	57,680,000	55,780,000	1,900,000	3.4

※主な増減要因

- 総 務 費 : 一般職員(退職手当含) △3.1億円、参議院議員選挙執行経費 △0.5億円、
土地購入費 +1.5億円
- 民 生 費 : 施設型・地域保育給付費 +5.3億円、施設整備費補助金 +4.4億円、
生活保護費 +1.1億円
- 衛 生 費 : 志太広域事務組合負担金 +7.7億円、
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費 △5.3億円
- 労 働 費 : 勤労者住宅建設資金貸付金 △0.2億円
- 農林水産業費 : 新陶芸センター整備事業費 +4.1億円、中山間地域活性化施設整備事業費 △0.8億円
- 商 工 費 : 企業立地促進事業費補助金 △5.2億円、企業立地推進事業費 +0.2億円
- 土 木 費 : 茶町大谷線(原)整備事業費 +2.4億円、緊急合同点検通学路整備事業費 +1.2億円、
浸水対策事業費 +1.2億円、総合運動公園 △4.6億円
- 消 防 費 : 志太広域事務組合負担金 +0.4億円、消防水利施設設置維持管理費 +0.1億円
- 教 育 費 : 新学校給食センター整備事業費 +4.1億円、非常用発電設備整備事業費 +0.6億円、
施設マネジメント計画推進事業費(小学校) +0.9億円(中学校) △1.1億円
- 災 害 復 旧 費 : 準用河川板沢川災害復旧事業費(補助) +1.8億円、
市道8地区168号線橋梁災害復旧事業費(補助) +0.7億円
- 公 債 費 : 元金償還金 +0.1億円、利子償還金 △0.1億円

イ 性質別予算額

(単位:千円、%)

科 目	令和5年度 当初予算額(A)	令和4年度 当初予算額(B)	増 減	
			増 減 額 (A)-(B)	増 減 率 (A-B)/(B)
人 件 費	7,433,326	7,686,931	△ 253,605	△ 3.3
	定年延長に伴う退職金の減			
物 件 費	6,310,814	6,720,625	△ 409,811	△ 6.1
	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費 △4.7億円 プラスチック使用製品廃棄物循環促進事業費 +0.5億円			
扶 助 費	13,761,903	13,126,411	635,492	4.8
	施設型・地域型保育給付費 +5.3億円、生活保護費 +1.1億円 妊娠出産・子育て応援事業費 +0.9億円 自立訓練等給付費 +0.8億円 子育て支援施設等利用給付費 △1.7億円			
補 助 費 等	10,193,997	9,225,772	968,225	10.5
	志太広域事務組合負担金 +8.1億円 下水道事業会計繰出金(負担金) +1.6億円			
普 通 建 設 事 業 費	7,360,446	6,806,932	553,514	8.1
	施設整備費補助金(高洲こども園整備) +4.4億円 新陶芸センター整備事業費 +4.2億円 総合運動公園 △4.6億円			
繰 出 金	3,427,953	3,463,027	△ 35,074	△ 1.0
	《特別会計繰出金》 国民健康保険事業 △0.2億円、介護保険 +0.7億円			
公 債 費	3,980,260	3,987,070	△ 6,810	△ 0.2
	元金償還金 +0.1億円、利子償還金 △0.1億円			
そ の 他	5,211,301	4,763,232	448,069	9.4
合 計	57,680,000	55,780,000	1,900,000	3.4

(3) 財政指標の推移

(単位:%)

項 目	令和5年度 当初予算(A)	令和4年度 当初予算(B)	増 減 (A)-(B)
実 質 公 債 費 比 率	7.7	8.1	△ 0.4
将 来 負 担 比 率	5.0	4.0	1.0
経 常 収 支 比 率	91.1	91.1	0.0

○ 令和4年度 2月補正予算案の概要

(単位:千円)

会 計 名		既定予算額	補正額 9号	計
一 般 会 計 (1)		61,336,000	△ 2,997,000	58,339,000
特 別 会 計 (2)		28,883,800	65,200	28,949,000
	国 民 健 康 保 険 事 業	13,486,000	203,800	13,689,800
	土 地 取 得	10,000	△ 7,200	2,800
	駐 車 場 事 業	107,000	△ 41,000	66,000
	介 護 保 険	13,234,800	△ 58,400	13,176,400
	後 期 高 齢 者 医 療	2,046,000	△ 32,000	2,014,000
企 業 会 計 (3)		30,330,000	420,000	30,750,000
病 院 事 業	収 益 的 支 出	19,649,000	420,000	20,069,000
	資 本 的 支 出	2,352,000	—	2,352,000
	計	22,001,000	420,000	22,421,000
水 道 事 業	収 益 的 支 出	2,257,000	—	2,257,000
	資 本 的 支 出	1,517,000	—	1,517,000
	計	3,774,000	—	3,774,000
下 水 道 事 業	収 益 的 支 出	2,313,000	—	2,313,000
	資 本 的 支 出	2,242,000	—	2,242,000
	計	4,555,000	—	4,555,000
合 計 (1)+(2)+(3)		120,549,800	△ 2,511,800	118,038,000

※ 主な補正内容

国民健康保険事業：保険給付費 +2億3,000万円、総務費 △1,900万円、保健事業費 △734万円

土地取得：公共用地取得時事業費 △723万円

駐車場事業：駐車場費 △4,970万円、繰出金 +870万円

介護保険：地域支援事業費 △3,296万円、総務費 △2,525万円、

後期高齢者医療：後期高齢者医療広域連合納付金 △3,200万円

病院事業：[収益的收入] 補助金 +8億3,900万円

[収益的支出] 給与費(給料) +6,500万円、(手当等) +1億5,400万円、

(報酬) +2,000万円、(法定福利) +1,100万円

材料費(診療材料費) +1億7,000万円

○ 一般会計 2月補正予算

(1) 款別集計表

(歳入)

(単位:千円)

款別	既定予算額	補正額 9号	計
1 市 税	21,100,000	△ 84,000	21,016,000
2 地 方 譲 与 税	415,000	—	415,000
3 利 子 割 交 付 金	8,000	—	8,000
4 配 当 割 交 付 金	51,000	—	51,000
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	99,000	—	99,000
6 法 人 事 業 税 交 付 金	126,000	—	126,000
7 地 方 消 費 税 交 付 金	3,092,000	—	3,092,000
8 ゴルフ場利用税交付金	18,000	—	18,000
9 環 境 性 能 割 交 付 金	62,000	△ 10,000	52,000
10 地 方 特 例 交 付 金	212,150	—	212,150
11 地 方 交 付 税	4,792,573	—	4,792,573
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	27,000	—	27,000
13 分 担 金 及 び 負 担 金	201,470	△ 8,500	192,970
14 使 用 料 及 び 手 数 料	373,200	△ 12,695	360,505
15 国 庫 支 出 金	12,248,537	△ 806,959	11,441,578
16 県 支 出 金	4,957,282	△ 231,604	4,725,678
17 財 産 収 入	180,261	43,718	223,979
18 寄 附 金	1,516,010	△ 795,450	720,560
19 繰 入 金	1,684,562	△ 1,091,255	593,307
20 繰 越 金	3,700,740	—	3,700,740
21 諸 収 入	2,987,815	△ 7,055	2,980,760
22 市 債	3,483,400	6,800	3,490,200
合 計	61,336,000	△ 2,997,000	58,339,000

※ 主な補正内容

市税：市民税(個人) △8,400万円

分担金及び負担金：私立保育所等保育料 △850万円

使用料及び手数料：住民基本台帳写等手数料 △431万円、印鑑証明手数料 △385万円

国庫支出金：住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費補助金 △3億9,100万円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 △2億3,342万円

県支出金：介護サービス提供体制整備促進事業費補助金 △5,206万円

市街地再開発事業等補助金 △3,049万円

寄附金：ふるさと応援寄附金 △8億円

繰入金：財政調整基金繰入金 △10億9,037万円

諸収入：特定健康診査受託収入 △1,705万円

市債：公共土木施設災害復旧事業債 +7億1,210万円、農林施設災害復旧事業債 +8,110万円

環境管理施設整備事業債 △2億2,660万円、地方道路等整備事業債 △2億1,520万円

(歳出)

(単位:千円)

款別	既定予算額	補正額 9号	計
1 議会費	293,020	△ 12,500	280,520
2 総務費	6,680,042	△ 238,861	6,441,181
3 民生費	22,496,369	△ 1,024,085	21,472,284
4 衛生費	7,635,304	△ 819,367	6,815,937
5 労働費	2,243,130	△ 9,242	2,233,888
6 農林水産業費	1,254,745	△ 90,562	1,164,183
7 商工費	2,343,119	△ 273,430	2,069,689
8 土木費	7,024,666	△ 314,924	6,709,742
9 消防費	1,472,400	△ 39,132	1,433,268
10 教育費	4,044,135	△ 99,018	3,945,117
11 災害復旧費	1,516,000	△ 5,900	1,510,100
12 公債費	3,987,070	△ 80,740	3,906,330
13 諸支出金	46,000	10,761	56,761
14 予備費	300,000	—	300,000
合計	61,336,000	△ 2,997,000	58,339,000

※ 主な補正内容

総務費：地方応援制度事業経費 △3億6,332万円、

未来を創るふるさと応援基金元金積立金 +3億5,000万円

民生費：住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 △3億9,100万円、

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 △7,800万円、

児童手当 △7,500万円、認定こども園施設型給付費 △7,400万円

衛生費：志太広域事務組合負担金 △4億6,425万円、定期予防接種 △1億1,450万円

農林水産業費：中山間地域活性化施設整備事業費 △2,970万円、

新陶芸センター整備事業費 △1,956万円

商工費：中小企業等経営支援金給付事業費 △1億6,520万円、

ものづくり設備等導入支援事業費補助金 △2,500万円

土木費：駅前一丁目9街区市街地再開発事業費 △1億2,016万円、

駅前一丁目6街区市街地再開発事業費 △6,280万円、

駐車場事業特別会計繰出金 △4,700万円、住宅・建築物耐震改修事業費 △2,895万円

舗装長寿命化事業費 +5,885万円、公園施設長寿命化事業費 +3,000万円

消防費：志太広域事務組合負担金 △2,953万円

教育費：施設マネジメント計画推進事業費(中学校) △5,000万円

公債費：元金償還金 +912万円、利子償還金 △8,706万円、一時借入金利子 △280万円

令和5年2月7日（火）



令和5年度 行政組織機構及び定員管理 〈概要〉

企画創生部企画政策課
総務部人事課

令和5年度行政組織機構・定員管理について

変動と不確実性の時代の中、市民が心身ともに健康で、安全・安心に暮らし、将来に向け希望の持てるまちづくりを確実に進める必要があります。

また、国、地方を挙げた技術革新による分散型社会への転換は、真の創生を実現するチャンスの時であり、本市固有の資源を活かした先駆的な取組をさらに前進させる必要があります。

そこで、本市では来年度、「未来への成長基盤づくり」「次代を担う人づくり」を重点的に進めることとし、デジタル化、グリーン化を基軸に市民に寄り添い、日々の暮らしを支える「4K施策」をはじめ、中心市街地や旧市街地、中山間地域の新たなまちづくりを進めるとともに、「こども・子育て支援」を政策の柱に据え、“市民の幸せと活躍”を実現します。

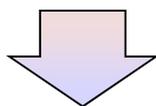
また、こうした未来、次代を創る政策・施策を戦略的かつ機動的に進める組織体制に転換するとともに、適材適所な職員配置を行います。

併せて、変革する社会や多様化する市民ニーズに対応するため、デジタル人材の育成とともに、働き方改革やワーク・ライフ・バランスを推進し、“市民・職員が幸せを実感できる日本一の市役所づくり”を進めます。

I 令和5年度行政組織編成の方向性

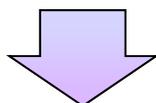
<令和5年度重点方針>

- 市民が元気に活躍するまちづくり
 - ・「健康」「安心」「希望」の確立
- スマート・ゼロカーボンシティへの転換
 - ・「市民」「まち」「市役所」のDX、脱炭素化（環境貢献）
- 未来に向けた拠点都市づくり
 - ・分散型社会での「人」「モノ」の誘導、「交流」の拡大



○重点方針の柱

- 1 コンパクト+ネットワークのまちを創る
- 2 産業としごとを創る
- 3 ひとの流れを創る
- 4 健やかに暮らし活躍できるまちを創る



◎重点方針の柱に基づく組織編成の方向性

- ①こども・子育て家庭を包括的にサポートする組織体制づくり
- ②市民の健康・予防を徹底して守る組織体制づくり
- ③将来に向け都市の価値を高め、発展につなげる組織体制づくり

II 令和5年度行政組織、職員配置の概要

1 コンパクト+ネットワークのまちを創る

(1) 多彩な魅力を放つ拠点を創る

中心市街地・中山間地域の持続的な発展に向け、駅前地区の連鎖的な再開発を推進する体制、陶芸を核とした新たなまちづくりを進める体制を維持します。

また、藤枝旧市街地の総合的な再生に本格的に着手する体制づくりを行います。

⇒旧市街地総合再生の推進に向けた体制づくり

■都市建設部内に「旧市街地活性化推進室」を新設

旧市街地総合再生や立地適正化等、市街地活性化に向けた取組を一元的に推進します。

※都市政策課の課内室として設置

(2) 拠点同士をつなげるネットワークを創る

持続可能な地域交通ネットワークや、将来を見据えた次世代交通の確立を推進する体制を維持します。

(3) 品格と魅力のある都市空間を創る

空き家の活用・流通を重点的に進め、生活環境の保全と移住・定住を促進する体制を維持します。

また、藤枝駅周辺や蓮華寺池公園周辺、岡部宿周辺のさらなる魅力向上や景観資源の保全を図るため、重点的に景観形成を進める体制を維持します。

(4) “環境日本一”のまちを創る

ごみの削減や資源化、プラスチック資源循環など、ゼロカーボンシティを推進する体制を維持します。

また、地域循環型の新たなクリーンセンター整備を推進する体制を維持します。

(5) 安全・安心な災害に強いまちを創る

頻発化、激甚化する風水害から市民の命と財産を守るため、水防・土砂災害防止対策を推進する体制を維持します。

また、市民の命と健康を守るため、新型コロナウイルスをはじめ、あらゆる感染症に対応する体制づくりを行います。

⇒感染症対策を強化する体制づくり

■ 健やか推進局内に「感染症対策課」を設置（コロナウイルス対策課を改編）

全ての感染症への対応や各種予防接種業務を一元化し、市民の健康・予防対策を強化します。

(6) “交通安全日本一”のまちを創る

市民総ぐるみの交通安全運動や、自転車安全運転対策など、「交通安全日本一」のまちづくりを推進する体制を維持します。

2 産業としごとを創る

(1) 力強い地域産業と雇用を創る

地域資源を活かした商業振興や中小企業の事業力強化、雇用確保対策を推進する体制を維持します。

オーガニックビレッジによる地域ブランド化を戦略的に推進するとともに、農地利用の適正化や安定的な農業の環境を整備する体制を維持します。

○民間専門人材の活用（産業政策課）

市内産業の新たなビジネス創出や持続力確保に向け、専門的ノウハウを得てスタートアップ等とのビジネスマッチングを推進します。

(2) 新たな産業、独自のビジネスを創る

分散型社会の中で、革新的企業や高付加価値企業の立地誘導を図り、将来に向けて新たな基幹的産業を創出する体制を維持します。

(3) ICTでひととしごとを呼び込むまちを創る

安全・快適・便利な「スマート・コンパクトシティ」の形成や地域DXを戦略的に推進し、デジタル田園都市モデルを確立する体制を維持します。

(4) 地域で活躍する“ひと”を創る

リカレント教育やリスクリングなど、地域経済を担う“人づくり”を戦略的に推進する体制を維持します。

(5) 将来に向け市役所の基盤を創る

働きがいのある職場づくりと一体的に職員力向上に向けた研修の強化など、次代を担う志が高い“人づくり”を重点的に推進する体制を維持します。

3 ひとの流れを創る

(1) 移住・定住の大きな流れを創る

人口対策として移住・定住を促進するため、プロモーションや空き家の活用・宅地供給等を戦略的、横断的に進める体制を維持します。

(2) 地域全体で大きな交流を創る

独自のスポーツや歴史文化を活かした観光・交流の推進、サイクルツーリズムなど新たな観光の創出を推進する体制を維持します。

また、地域間連携や国・県等との連携を強化し、広域的プロジェクトに効果的に対応する体制を構築します。

⇒広域連携を強化する体制の構築

■企画創生部内に「広域連携担当理事」を配置

多様な地域間連携や国・県等との連携、リニア中央新幹線等広域的事業への対応などを統括し、円滑な総合調整を進めます。

(3) “藤枝の宝”を活かしたまちを創る

令和6年に100周年を迎えるサッカー文化や、日本遺産の街道文化、お茶文化など、本市独自の貴重な資源と強みを最大限に活かし、将来につなげるまちづくりを推進する体制を維持します。

○民間専門人材の活用（花と緑の課）

市民の交流の場としての公園の魅力と価値向上に向け、専門的ノウハウを得て蓮華寺池公園を中心にパークマネジメントを推進します。

(4) 市民が安心便利に暮らせる環境を創る

複雑化・複合化する福祉課題への包括的な対応とともに、深刻化する生活困窮やひきこもり対策を推進する体制を維持します。

また、障害者の生活・就労支援を強化し、安心して生活できる社会環境づくりを推進する体制を維持します。

4 健やかに暮らし活躍できるまちを創る

(1) 出会いと子どもを守り支える環境を創る

子ども家庭総合支援（児童福祉分野）と子育て世代包括支援（母子保健部門）の一元化により、妊産婦から子育て家庭、こどもを包括的に支援する体制を構築するとともに、安全・安心な保育環境づくりを強化する体制づくりを行います。

⇒妊産婦・子育て家庭・こどもを包括的に支援する体制の構築

◎「藤枝市こども家庭センター」を設置（こども未来応援局の3課で構成）

○「保育統括担当参事」を配置

安全・安心な保育施設の運営や指導、保育士の人材育成、働きやすい環境づくりなど、保育現場への対応を強化します。

■「こども課」を設置（児童課を改編）

課内に「こども企画担当」、「子育て包括支援係」を新設（人員の拡充）

こどもの尊厳や健やかな成長を守り支える政策形成や子育ての包括的な相談支援を推進します。

(2) “教育日本一”のまちを創る

小中一貫教育の深化やコミュニティスクールの充実に向け、本市ならではの行政と学校教育が一体となった機動的な体制を維持します。

また、安全・安心な学校給食の環境づくりに向けた体制を維持します。

(3) “健康・予防日本一”のまちを創る

企業総ぐるみの健康経営やがん対策、疾病・認知症予防など、若い世代を中心とした健康づくりを推進する体制を維持します。

また、市民の命と健康を守るため、新型コロナウイルスをはじめ、あらゆる感染症に対応する体制づくりを行います。

⇒感染症対策を強化する体制づくり（再掲）

■健やか推進局内に「感染症対策課」を設置（コロナウイルス対策課を改編）

全ての感染症への対応や、各種予防接種業務を一元化し、市民の健康・予防対策を強化します。

(4) 安定・安全で高度な医療体制を創る

市立総合病院について、志太榛原二次医療圏唯一の三次救急指定病院、地域がん診療連携拠点病院として、より一層の機能充実や医療の高度化を図る体制づくり、また、きめ細かに患者に寄り添う専門的な相談体制づくりを行います。

併せて、安定的な人材確保を図り、持続可能な経営基盤を整えるため、医師等の働き方改革を重点的に進める体制づくりを行います。

⇒さらなる高度医療の提供に向けた体制づくり

■「脳卒中センター」を新設（第2診療部から独立）

病院

二次医療圏唯一の認定PSCコア施設（脳卒中医療中核施設）として、さらに救命率、社会復帰率を高める高度なチーム医療を提供します。

■「IVR（血管内治療）センター」を新設

県中部地域におけるIVR中核施設として、迅速で、患者負担の少ない高度なIVR医療を提供します。

⇒専門的かつきめ細かな患者相談体制づくり

■医療支援センター内に「患者相談室」を新設

病院

がん相談や脳卒中相談、入退院や在宅の医療に関する相談など、様々な医療相談に一元的に対応し、安心して治療に専念できるよう、患者や家族の不安解消、問題解決をサポートします。

⇒働き方改革を推進する体制づくり

■事務部内に「働き方改革推進室」を新設

病院

持続可能な経営基盤の確立に向け、長時間労働に陥りがちな医師等の健康確保や、家庭生活との両立の実現を推進します。

※病院人事課の課内室として設置

(5) スポーツ・文化を活かしたまちを創る

令和6年に100周年を迎えるサッカーのまちづくりを推進するとともに、J2に昇格した藤枝MYFCとの連携を図り、地域を挙げての応援の機運づくりや地域活性化の推進、ホームゲームを円滑に運営する体制を強化します。

また、日本遺産や家康ゆかりの地を活かした歴史文化の振興と観光まちづくりを推進する体制を維持します。

⇒サッカーのまちづくり推進に向けた体制の強化

■サッカーのまち推進課内に「Jリーグ担当」を新設（人員の拡充）

Jリーグクラブを核としたまちづくりにより、交流人口の拡大や地域経済の活性化、人材育成を進めるとともに、円滑なホームゲーム運営をサポートします。

(6) 市民の誰もが活躍できるまちを創る

市民や市民団体、自治会等による地域づくりや生活の支援とともに、多様な主体との共生・協働を総合的に推進する体制を維持します。

また、“いつからでも学び、チャレンジできるまち”へ、地域社会・地域経済を担う“人づくり”を進める体制を維持します。

Ⅲ 令和5年度組織改編と定員管理

■組織改編（市立総合病院を除く）

	部	局	課、室、センター等
令和4年度	10	4	74
令和5年度	10	4	75
増減	0	0	1

■定員管理

1 職員配置の方針

職員配置においては、“幸せになるまち”を実現し、将来につなげるための実効性ある施策の展開に向け、各部署に適切かつ必要な人財の配置に努めます。

また、職員の能力を最大限発揮できるよう、本人の希望と適性を重視し、キャリアプランを尊重した人財育成に努めると共に働き方改革を推進します。

○令和5年4月1日現在の職員数は、778人を予定しています。

- ・令和4年4月1日現在の770人と比較し8人の増員を予定。
- ・なお、市立総合病院は令和5年4月1日現在961人（18人増）を予定。

2 職員配置のポイント

（1）体制を強化して展開する主な施策

- ・こどもの尊厳や健やかな成長を守り支える取組の推進
- ・魅力的で持続可能な旧市街地再生の推進
- ・あらゆる感染症から市民を守る予防と対策の推進
- ・新たな魅力の創出や来訪人口の拡大など更なるサッカーのまちづくりの推進

（2）人財育成のための職員派遣の継続

- ・プロフェッショナル人財の育成と他機関との連携強化のための職員派遣
環境省、国土交通省、静岡県（東京事務所含）、静岡市、島田市、
地方公共団体情報システム機構「J-LIS」、
静岡県後期高齢者医療広域連合、（一財）地域創造、
（公財）全国市町村国際文化研修所「JIAM」、
（一財）自治体国際化協会「クリア」、（株）静岡銀行、（株）静岡鉄道、
しずおか焼津信用金庫

令和5年2月7日（火）



令和5年度 藤枝市当初予算案 〈資料編〉

財政経営部財政課

**【1】4つの日本一に
向けての取り組み**

健康・予防日本一に向けての取り組み

1 基本理念

市民の誰もが住みなれた地域で、生涯を通して安心して幸せに暮らせる社会の実現が必要である。そのため、市民の健康寿命の延伸を目指し、市民一人ひとりが心身ともに健康な生活を送れるよう、市民の主体的な健康づくりを支援し、市民団体や医療関係団体などと連携して、健診や疾病予防体制の充実に努め、元気で長生きな市民が日本一多く、特定健診やがん検診の受診率が日本一高い、健康都市を創る。

2 日本一とする指標等

藤枝市の健康に関する強みを活かした目標指標を設定。全国的にも総合的な観点で優位性が証明できる指標にする。

- ① 平均寿命
- ② がん標準化死亡比
- ③ 乳・子宮がん受診率
- ④ 肺がん検診受診率
- ⑤ 大腸がん検診受診率

3 令和5年度の重点項目

(1) 感染症対策の一元化

新型コロナウイルス対策を始めとした、全ての感染症への対応や各種予防接種業務を一元化し、市民の感染症予防対策を強化するとともに、带状疱疹ワクチン、高齢者の肺炎球菌ワクチン等の任意接種を希望する対象市民にワクチン接種の支援を実施し、市民の健康を守る。

(2) がん対策推進条例に沿った施策の展開

がん対策推進条例に沿って関係機関と連携協働しながら、市民の健康寿命延伸に寄与するための様々な施策を展開する。

(3) 健康無関心層へのアプローチの強化

市内事業所の従業員を対象に、本市健康課題である高血圧の予防に有効な“減塩”の意識付けを図る事業を新たに展開することで、従業員とその家族、さらには地域での健康づくりを強化し、市民の健康寿命の延伸を図る。

(4) 地域包括ケアシステムの深化

第8次介護・福祉ぷらん21に基づき、地域と連携して生活支援や移動支援の促進を図る。また、在宅医療・介護における多機関・多職種連携により、切れ目ないサービス提供体制の構築を推進する。さらに、いつまでも生き生きと暮らし続けるための介護予防活動の支援を行い、アクティブシニアの活躍の促進を図る。

(5) 妊産婦から子育て家庭、こどもの包括的な支援の充実

こどもの尊厳や健やかな成長を守り支える政策形成や「藤枝市こども家庭センター」の設置により妊娠期から子育ての包括的な支援体制を強化する。

(6) 安心・安全な保育環境の充実

「第2期藤枝市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、幼稚園の認定こども園化や安心・安全な保育施設の運営・指導、保育士の人財育成、働きやすい環境づくりなど、保育現場への対応を強化するとともに保護者の負担を軽減する。

(7) 途切れのない発達支援体制の拡充

「第2期藤枝型発達支援システム行動計画」に基づき、地域支援体制の充実・強化を図るとともに、家庭と教育と福祉のより一層の連携推進により、子どもから若者の途切れのない発達支援体制の更なる拡充を図る。

教育日本一に向けての取り組み

1 基本理念

「教育日本一」を目指し、次代を担う「人間力」を備えた人材育成のため、家庭・地域・学校と行政が一体となって教育環境の整備と体制の充実に取り組む。

多様な人・モノ・コトをつなぎ、豊かで質の高い学びにより人を育み、さらに次世代にもつなげていけるよう「豊かな学びで 笑顔をつなぐ」を基本理念とし、“人がまちをつくり まちが人を育む”視点を持ち、市民総がかりで取り組むことで、他市町の模範となるべく「学びの環境モデルふじえだ」づくりを進め、本市の教育の更なる深化を図る。

2 日本一とする指標等

「学びの環境づくり」において日本一を目指す。その指標については展開する諸事業を総合的な観点から検証できる下記項目とする。

- ① 将来の夢や希望を持っている子供の割合
- ② 生涯学習出前講座受講者数（年間）
- ③ 図書館・図書室での図書貸出者数（年間）

3 令和5年度の重点項目

（1）全ての児童生徒へのきめ細やかな対応の拡充

コロナ禍への対応を含め、40名の学校生活支援員を継続して配置するとともに、特別に支援が必要な児童生徒に対応するため、引き続き登校支援教室指導員を10名配置する。また、医療的ケアを必要とする児童を支援するため、学校看護師を4名に増員するなど、全ての児童生徒が個性を發揮しながら、ともに学び、成長していくための環境づくりを進める。

（2）快適で安全・安心な教育環境の整備

児童生徒が快適で安全に安心して学校生活を送れる環境づくりとして、空調設備やトイレ環境の改善、施設マネジメント計画に基づく効果的な施設の改修を継続する。また、新学校給食センター建設に向け、基本・実施設計及び造成設計に加え、地盤変動影響調査や用地取得などを行う。

（3）多様な学びの実現を目指して

いつからでも学びチャレンジできるまちに向け、地域社会・地域経済を担う人づくりを一層推進するため、藤枝市民大学の教育メニューを充実するとともに、リスキリングによる市民のチャレンジのサポートを強化する。

（4）安全・安心な学校給食の提供

子どもの体づくりの基本となる、安全安心でおいしい学校給食を提供するため、地産地消の推進や食育の推進を図る。また、給食センターと営農者をつなぐ地産地消コーディネーターを配置し、学校給食への地元食材の継続的な使用を図る。

環境日本一に向けての取り組み

1 基本理念

- (1) 豊かな自然環境を育み、人やまちとの共生を図る
- (2) 資源の循環的な利用を図り、持続可能な社会をつくる
- (3) 市民・事業者・行政が互いに協力及び連携を図り、積極的に取り組む
- (4) 地球環境の保全に対して、日常生活及び事業活動の中で配慮しつつ、積極的に推進する

環境基本条例に示された4つの基本理念の具現化を目指すため、将来像に「未来に輝く持続可能な環境行動都市」を掲げ、あらゆる主体との連携と協働により、持続可能なまちづくりのコンセプトとしている“もったいない”の深化を図り、市内における環境行動を活性化させることで「環境日本一のまち」を実現する。

2 日本一とする指標等

「環境にやさしい暮らしを実践している市民」の多さ“日本一のまち”を目指すものとし、「1人1日当たりのごみ排出量（人口10万人以上50万人未満）」の少なさをその指標とする。

3 令和5年度の重点項目

(1) “もったいない運動”のまちプロジェクト

「環境マイレージ制度」を活用して環境行動の実践と環境イベント等への市民参加を促進し、「市民のつどい」など“もったいない”運動を通して市民・事業者・行政の協働による環境行動を啓発するとともに、環境教育による人材育成を推進する。

(2) 資源循環のまちプロジェクト

本体工事が始められたクリーンセンターの整備を促進し、循環型社会における拠点づくりと地域振興を推進する。

ごみ減量説明会の開催やごみ分別ガイドブックによる啓発に加え、食品ロス削減等の啓発を行うことにより、ごみの減量化に対する市民意識を高めるとともに、6Rの推進に重点を置きながら、ごみの分別徹底や生ごみ資源化の促進、プラスチックごみの再商品化などの実効性の高い施策を展開し、資源循環システムを確立する。

(3) ゼロカーボンシティふじえだプロジェクト

一般家庭の再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器、蓄電池などの導入を促進するとともに、事業所の脱炭素化に向けた補助支援を強化する。更に、多くの市民が利用する公共施設のLED化を促進し、全市を上げてカーボンニュートラルに取り組む。

(4) 清潔で快適な生活環境のまちプロジェクト

安全・安心な水道水の提供と、公共用水域の水質向上のために、上水道・下水道それぞれの施設や管路の耐震化・長寿命化を図りながら清潔で快適な生活環境づくりを推進する。

交通安全日本一に向けての取り組み

1 基本理念

“幸せになるまち” 藤枝づくりの実現に向けて、その基盤となる環境づくりは極めて重要であり、交通安全対策を重点施策として取り組んでいかなければならない。

人命尊重の理念に基づき、歩行者や自転車、高齢者等の交通弱者に対する対策を中心に、意識啓発等のソフト面と、交通安全施設整備等のハード面の対策を一体的に推進することにより、「安全で安心して暮らせる“交通安全日本一”の都市」の実現を図り、究極的には交通事故のない社会を目指す。

2 日本一とする指標等

下記項目にて「日本一」となるべく、多様な施策を展開する。

- ① 交通死亡事故ゼロ ② 交通安全教室等の参加者数

3 令和5年度の重点項目

(1) 交通安全日本一の推進

① 高齢者の交通安全対策事業

- 高齢者交通安全教室サポカー体験会【新規】

市内自動車学校と連携し、教習コースを活用したサポカー体験会の開催

- 高齢者運転経歴証明書発行手数料助成事業

運転経歴証明書発行手数料（1,100円）に対する全額助成

- 高齢者運転免許証自主返納促進事業

運転免許証を自主返納した高齢者に対し、タクシー乗車券（1万円分）、民間バス乗車券（1万円分）、自主運行バス1年間無料乗車券のうち1つを交付

② 児童・生徒の交通安全対策事業

- AIを活用した事故発生リスクの予測【新規】

損保の事故発生リスクAI予測サービスを活用した通学路危険箇所マップ作成

- 中学生・高校生スケアードストレイト方式交通安全教室の開催

スタントマンが交通事故を再現することで交通法規遵守の重要性を学ぶ教室

- 高校生いのちの教室

交通事故被害者遺族の講話により命の大切さを学ぶ教室

③ 自転車の安全利用促進

- 自転車乗車用ヘルメット購入費補助【新規】

高校生以上の市民と市内に通勤通学する者のヘルメット購入に補助を実施

④ 自動車の安全運転支援対策

- ドライブレコーダー購入・設置費補助【拡充】

ドライブレコーダーの購入・設置、リース等購入を伴わない設置費を補助

⑤ 地域と連携した交通安全啓発

- ふじえだ交通事故ゼロ作戦

自治会・町内会や事業所等と連携し、市民総ぐるみで無事故・無違反チャレンジを実施

(2) 通園路等事故対策事業の推進

- 保育所等や藤枝警察署、市が協議のうえキッズゾーンを設定し、路面標示をはじめとした交通安全施設整備を実施（いなばこども園、高洲幼稚園）

**【2】 令和5年度
重点戦略事業**

重点戦略事業参考資料

事業名	17	予算額	R5	63,200 千円	担当課 (室)	教育政策課												
	【推進】 中山間地域避難所環境の強化		R4	3,700 千円		直通 631-5760												
予算書：232-233、236-237 ページ 予算説明資料：144、147 ページ 予算書説明欄の名称：非常用発電設備整備事業費																		
総合計画の位置付け： 1 - 1 - 3 多様な避難対策を含めた地域防災力の強化																		
3カ年(R3-R5)の事業費： 66,900 千円(一般財源 - 千円)																		
<p>1 概要</p> <p>防災拠点となっている学校施設のうち、災害時にインフラが遮断され孤立の恐れのある中山間部に位置する学校4校について、被災(停電)時の電力供給源となる非常用発電設備を整備し、避難所の機能強化を図る。</p> <p>令和5年度は、2校への設置工事を施工するとともに、令和6年度に施工予定の2校について、設計業務を実施する。</p> <p>2 内容 (単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">事業内容</th> <th style="text-align: center;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">設計業務委託</td> <td>令和6年度に非常用発電設備整備予定2校の設計 (瀬戸谷小・瀬戸谷中)</td> <td style="text-align: right;">4,200</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">非常用発電設備 設置工事</td> <td>非常用発電設備整備 (葉梨西北小・朝比奈第一小)</td> <td style="text-align: right;">59,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">63,200</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 他市における同種または、類似事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島田市:令和2年度に避難所の6校へ小容量(携帯電話充電程度)蓄電池を整備 ・焼津市:避難所の学校施設への非常用発電機整備はなし <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定財源:静岡県 地震・津波対策等減災交付金 補助率1/3 							区分	事業内容	予算額	設計業務委託	令和6年度に非常用発電設備整備予定2校の設計 (瀬戸谷小・瀬戸谷中)	4,200	非常用発電設備 設置工事	非常用発電設備整備 (葉梨西北小・朝比奈第一小)	59,000	合 計		63,200
区分	事業内容	予算額																
設計業務委託	令和6年度に非常用発電設備整備予定2校の設計 (瀬戸谷小・瀬戸谷中)	4,200																
非常用発電設備 設置工事	非常用発電設備整備 (葉梨西北小・朝比奈第一小)	59,000																
合 計		63,200																

重点戦略事業参考資料

事業名	55	予算額	R5	1,574 千円	担当課 (室)	教育政策課																
	【新規】 部活動地域移行推進事業費		R4	－ 千円		直通	643-3135															
予算書：230-231 ページ 予算書説明欄の名称：部活動地域移行推進事業費			予算説明資料：140 ページ																			
総合計画の位置付け： 3 - 2 - 6 学校における働き方改革の推進																						
3カ年(R3-R5)の事業費： 1,574 千円(一般財源 526 千円)																						
<p>1 概要</p> <p>文部科学省より示された「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」に合わせ、令和5年度より「休日の段階的な地域移行」と「合理的で効率的な部活動の推進」を進める。本市では、子どもたちのやりたいスポーツや文化的活動の選択肢を広げ、持続可能な体制を整えるため、従来の学校ごとの部活動の枠組みを外し、エリア制を基本とした合同部活動や市内全体を集約したセントラル方式等、様々なスタイルを模索しつつ、休日を中心に指導の主体を地域人材へと段階的に移行していく。</p> <p>そのための指導者や受け入れ団体の発掘、学校や保護者との連絡調整を担当する地域部活動推進コーディネーターを配置する。</p> <p>また、令和6年度以降の地域連携の推進に向けて「地域部活動在り方検討委員会」及び「地域部活動推進委員会」を設置する。</p> <p>2 内容 (単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">事業内容</th> <th style="text-align: center;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域部活動推進コーディネーターの配置</td> <td>地域における部活動の指導者や受け入れ団体の発掘、学校や保護者との連絡調整を担当するコーディネーターを配置</td> <td style="text-align: center;">1,379</td> </tr> <tr> <td>地域部活動在り方検討委員会の設置</td> <td>令和6年度以降の地域連携に向けた市全体の方針を示すための「地域部活動在り方検討委員会」の設置</td> <td style="text-align: center;">120</td> </tr> <tr> <td>地域部活動推進委員会の設置</td> <td>各地区(種目)において部活動の地域連携について具体的に決定していくための「地域部活動推進委員会」を設置</td> <td style="text-align: center;">75</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">1,574</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 他市における同種または、類似事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼津市は、個人スポーツ種目から協会や連盟を中心とした団体への地域移行を推進中 ・島田市は、市内全体でのセントラル方式への移行を検討中 ・静岡市は、学校単位の部活動からエリア制の“シズカツ”への地域移行を推進中 								区分	事業内容	予算額	地域部活動推進コーディネーターの配置	地域における部活動の指導者や受け入れ団体の発掘、学校や保護者との連絡調整を担当するコーディネーターを配置	1,379	地域部活動在り方検討委員会の設置	令和6年度以降の地域連携に向けた市全体の方針を示すための「地域部活動在り方検討委員会」の設置	120	地域部活動推進委員会の設置	各地区(種目)において部活動の地域連携について具体的に決定していくための「地域部活動推進委員会」を設置	75	合 計		1,574
区分	事業内容	予算額																				
地域部活動推進コーディネーターの配置	地域における部活動の指導者や受け入れ団体の発掘、学校や保護者との連絡調整を担当するコーディネーターを配置	1,379																				
地域部活動在り方検討委員会の設置	令和6年度以降の地域連携に向けた市全体の方針を示すための「地域部活動在り方検討委員会」の設置	120																				
地域部活動推進委員会の設置	各地区(種目)において部活動の地域連携について具体的に決定していくための「地域部活動推進委員会」を設置	75																				
合 計		1,574																				

重点戦略事業参考資料

事業名	56	予算額	R5	184,950 千円	担当課 (室)	教育政策課	
	【推進】 学校施設環境の充実		R4	176,800 千円		直通	631-5760
予算書： 232-233、236-237 ページ 予算説明資料： 144、147 ページ 予算書説明欄の名称：トイレ環境改善事業費、空調設備整備事業費							
総合計画の位置付け： 3 - 2 - 4 快適で安心して学習できる環境整備							
3カ年(R3-R5)の事業費： 367,602 千円(一般財源 70,214 千円)							
1 概要 ○トイレ環境改善事業 現状の学校施設は、現代の生活様式に対応できておらず、特にトイレについては洋式化を求める声大きい。小学校については令和5年度に予定する学校の改修をもって完了とし、令和6年度から始まる中学校の改修工事のための設計業務を併せて実施する。 ○空調設備整備事業 近年の気候変動に伴う、夏場の厳しい暑さから、児童生徒を守る目的で設置した普通教室の空調設備に加えて、特別教室についても整備を行う。特に利用頻度の高い理科室、音楽室を順次、整備していく予定である。令和5年度で中学校の整備を完了し、併せて令和6年度から始まる小学校の整備に向けた設計業務を実施する。							
2 内容 (単位:千円)							
区分		事業内容			予算額		
設計業務委託		令和6年度トイレ改修工事予定3校の設計 (藤枝中、葉梨中、岡部中)			5,700		
小学校トイレ洋式化等改修工事		藤枝中央小:既設(和式14・洋式4)→(洋式12) 高洲小 :既設(和式21・洋式6)→(洋式23) 青島北小 :既設(和式15・洋式6)→(洋式16) ※高洲小は多目的トイレ2か所を設置 上記のほかブース、衛生器具類の更新、内装改修を行う			133,400		
設計業務委託		令和6年度空調設備整備予定5校の設計 (藤枝小、青島小、高洲小、高洲南小、青島北小)			4,750		
中学校空調設備設置工事		西益津中:音楽室(1室)、理科室(3室) 大洲中 :理科室(2室) 青島北中:音楽室(1室)、理科室(1室)			41,100		
合 計					184,950		
3 他市における同種または、類似事業の実施状況 ○トイレ環境改善事業 焼津市:小学校の中高学年用トイレを改修中 島田市:小中学校ともに5割以上を洋式化済 ○空調設備整備事業 焼津市:特別教室は全校で全て整備済み 島田市:音楽室、パソコン教室等は全校設置済み 今後、中学校の理科室への整備を検討							
4 その他 特定財源:「文部科学省 学校施設環境改善交付金」補助率1/3							

重点戦略事業参考資料

事業名	57	予算額	R5	1,260 千円	担当課 (室)	学校給食課															
	【推進】 学校給食地産地消推進事業費		R4	410 千円		直通 643-3273															
予算書: 252-253 ページ		予算説明資料: 163 ページ																			
予算書説明欄の名称: 学校給食地産地消推進事業費																					
総合計画の位置付け: 3 - 2 - 7 安全・安心な学校給食の提供																					
3カ年(R3-R5)の事業費: 1,812 千円(一般財源 1,812 千円)																					
<p>1 概要</p> <p>学校給食における地産地消をより進めるため地産地消コーディネーターを配置し、学校給食に納入可能な農作物の調査、納入調整、さらには、生産量の増加を図るなど、市内産または県内産の食材を安定供給していく。</p> <p>また、市内産の食材を使った親子料理教室を開催し、家庭での食育への波及や地産地消を親子で理解することで、地産地消を身近なこととして捉え、家庭からも地元産の魅力を発信していく。</p> <p>併せて、栄養教諭の専門性を活かし、教師と連携を図りながら授業内で地産地消に触れ、効果的に食育指導を進めていく。</p> <p>2 内容 (単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 50%;">事業内容</th> <th style="width: 30%;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>親子料理教室</td> <td>納入を依頼している生産農家を招き、生産に関わる講義と試食を行う。使用する食材は全て市内産を使用する</td> <td style="text-align: right;">96</td> </tr> <tr> <td>地産地消コーディネーター</td> <td>給食用の食材として必要な作物の生産状況の調査及び納入可能な生産者の開拓</td> <td style="text-align: right;">989</td> </tr> <tr> <td>食育指導用教材</td> <td>栄養教諭による食育指導</td> <td style="text-align: right;">175</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">1,260</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 他市における同種または、類似事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地産地消コーディネーター派遣事業(静岡市・吉田町) 							区 分	事業内容	予算額	親子料理教室	納入を依頼している生産農家を招き、生産に関わる講義と試食を行う。使用する食材は全て市内産を使用する	96	地産地消コーディネーター	給食用の食材として必要な作物の生産状況の調査及び納入可能な生産者の開拓	989	食育指導用教材	栄養教諭による食育指導	175	合 計		1,260
区 分	事業内容	予算額																			
親子料理教室	納入を依頼している生産農家を招き、生産に関わる講義と試食を行う。使用する食材は全て市内産を使用する	96																			
地産地消コーディネーター	給食用の食材として必要な作物の生産状況の調査及び納入可能な生産者の開拓	989																			
食育指導用教材	栄養教諭による食育指導	175																			
合 計		1,260																			

重点戦略事業参考資料

事業名	58	予算額	R5	447,200 千円	担当課 (室)	学校給食課										
	【推進】 新学校給食センター整備事業費		R4	33,500 千円		直通	643-3273									
予算書：252-253 ページ 予算書説明欄の名称：新学校給食センター整備事業費			予算説明資料：163 ページ													
総合計画の位置付け： 3 - 2 - 7 安全・安心な学校給食の提供																
3カ年(R3-R5)の事業費： 488,950 千円(一般財源 13,150 千円)																
<p>1 概要</p> <p>老朽化の著しい現在の学校給食センターに変わる新たな学校給食センターの整備に向け、令和4年度に策定した基本構想、基本計画に基づき、アレルギー食への対応や、現在の「学校給食衛生管理基準」に沿った、衛生的かつ効率の良い施設を整備し、安全安心な学校給食の提供を目指す。</p> <p>本年度は、令和4年度から実施している基本・実施設計及び造成設計に加え、地盤変動影響調査、西部及び北部学校給食センターの解体工事実施設計のほか、建設用地の取得に向け、土地収用法事業認定申請、事業認定認可後の用地取得及び物件等移転補償を行う。</p> <p>(本市3学校給食センターの建築年月日・提供食数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部学校給食センター 平成9年4月14日・4,969食 ・西部学校給食センター 昭和54年4月9日・3,377食 ・北部学校給食センター 昭和60年4月9日・3,828食 3センター計12,174食 																
<p>2 内容 (単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区分</th> <th style="width: 50%;">事業内容</th> <th style="width: 30%;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;">新学校給食センター整備事業</td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計、実施設計業務委託 (債務負担行為 R4～) ・造成設計業務委託 (債務負担行為 R4～) ・地盤変動影響調査業務委託 ・西部及び北部学校給食センター解体工事 実施設計業務委託 ・土地収用法事業認定業務 ・建設用地取得 ・物件等移転補償 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">447,200</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">447,200</td> </tr> </tbody> </table>								区分	事業内容	予算額	新学校給食センター整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計、実施設計業務委託 (債務負担行為 R4～) ・造成設計業務委託 (債務負担行為 R4～) ・地盤変動影響調査業務委託 ・西部及び北部学校給食センター解体工事 実施設計業務委託 ・土地収用法事業認定業務 ・建設用地取得 ・物件等移転補償 	447,200	合計		447,200
区分	事業内容	予算額														
新学校給食センター整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計、実施設計業務委託 (債務負担行為 R4～) ・造成設計業務委託 (債務負担行為 R4～) ・地盤変動影響調査業務委託 ・西部及び北部学校給食センター解体工事 実施設計業務委託 ・土地収用法事業認定業務 ・建設用地取得 ・物件等移転補償 	447,200														
合計		447,200														
<p>3 他市における同種または、類似事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼津市学校給食センター 昭和59年5月建築 提供食数12,000食 ・島田市南部学校給食センター 平成7年3月建築 提供食数2,700食 ・島田市中部学校給食センター 平成27年4月建築 提供食数2,700食 																

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
教育費	教育委員会費			
	1. 人件費 2,267 (2,267)	2,707 (2,817)		2,707
	(1)教育委員報酬 4人 (2)通学区域審議会委員報酬 7人			
	2. 一般諸経費 440 (550)			
	(1)一般諸経費			
教育費	事務局費			
	1. 人件費 218,801 (208,571)	357,031 (337,771)		357,031
	(1)教育長 (2)一般職員 (3)学校医等公務災害補償費			
	2. 小中学校諸業務費 133,740 (124,640)			
	(1)小中学校諸業務費 132,540 〔 会計年度任用〔 学校事務職、学校業務職 〕 職員報酬等〔 学校給食配膳等 〕 委託料 (学校施設植木剪定業務) 〕			
	(2)スクールロイヤー活用事業費 1,200 〔 学校・教育委員会からの法的相談業務 委託料 (県弁護士会からの派遣) 報償費 (運営協議会謝礼) 〕			
	3. 一般諸経費 4,490 (4,560)			
	(1)一般諸経費			
教育費	教育指導費			
	1. 人件費 37,997 (35,783)	437,816 (416,397)	国 3,971 県 4,354 諸収入 5,095	424,396
	(1)就学支援委員報酬 2人 (2)英語指導助手 (ALT) 9人 (3)いじめ問題対策委員報酬 5人 (4)学校運営協議会委員報酬 160人			

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
教 育 費	2. 教職員健康診断費等	17,790 (16,980)		
	(1) 教職員健康診断費等	14,950		
	〔健康診断委託料（定期健康診断、結核健康診断、指定年齢検診、教職員等ストレスチェック等）、教職員人間ドック負担金〕			
	(2) 就学時健康診断費	2,840 (令和6年度入学予定児童 1,102人)		
	3. 小中一貫教育推進事業費	29,390 (29,960)		
	(1) 小中一貫教育推進事業費			
	〔会計年度任用職員報酬等 報償費 保険料等〕			
	〔小中一貫教育推進員 専科教員〕			
	〔(コミュニティ・スクールディレクター謝礼)〕			
	4. 教育研究活動事業費	3,300 (3,950)		
(1) 教育連携推進事業費	3,000			
〔教育研究交付金 10中学校区 地域の特色に沿った事業のための研究費〕				
(2) 学校経営研究事業費	200			
〔学校経営研究会 4研究部 (経営・授業・生徒指導・学校事務改善)〕				
(3) 教育研究活動事業費	100			
〔中学校社会科副読本改訂研究委託料〕				
5. 教育推進事業費	380 (3,650)			
(1) 子ども未来応援事業費				
〔子ども未来応援会議開催 マナーブック等印刷配布〕				

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
教 育 費	6. 学校教育充実事業費	98,143 (93,802)		
	(1) 部活動地域移行推進事業費	1,574		
	〔 地域部活動推進コーディネーターの配置 地域部活動在り方検討委員会及び 地域部活動推進委員会の設置 〕			
	(2) 英語指導助手活用経費	52,420		
	〔 全小中学校にALTを配置 地域ALT 10人 〕			
	(3) Fujieda English Camp事業費	290		
	〔 ALTとの英語による体験活動 小中学生対象 Fujieda English Camp 年3回実施 Summer Day Camp 夏期2日実施 〕			
	(4) 学校国際交流推進事業費	500		
	〔 姉妹都市（ペンリス市）と市内小中学校 の学校間国際交流 ALTなど外国人との個人英会話 報償費、需用費 等 〕			
	(5) 学力アップ事業費	1,540		
〔 教員の指導力向上（教員の授業力向上講師 ・スーパーティーチャー謝礼等） 〕				
(6) 学校図書館司書活用経費	22,702			
〔 全小中学校に1人ずつ学校図書館司書を 配置 27人 〕				
(7) ふじえだ教師塾事業費	7,670			
〔 大学生・講師等に対する教員養成講座 教員（若手・中堅）に対する指導講座等 〕				
(8) 理科実験準備等支援事業費	1,020			
〔 理科授業での実験準備等を行う支援員を 配置 小学校3校 3人 〕				
(9) 学校ネットパトロール事業費	4,840			
〔 児童・生徒に関するインターネット上の 書き込み等の監視・報告 情報モラル研修 〕				

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
教 費	(10)教員の働き方改革支援事業費 5,587 〔 多忙化解消委員会 部活動検討委員会 部活動指導員 10人 〕			
	7. 不登校対策事業費 17,648 (16,970)			
	(1)スクールソーシャルワーカー活用事業費 2,498 〔 スクールソーシャルワーカー 3人 〕			
	(2)適応指導教室等活動事業費 15,150 〔 教育相談員5人 〕			
	8. 特別支援教育推進費 215,088 (196,252)			
	(1)特別支援教育強化事業費 4,374 〔 特別支援教育アドバイザー 1人 〕			
	(2)ことばの教室運営費 18,530 〔 未就学児の通級による専門的な言語指導 藤枝中央小、青島北小、岡部小 指導員6人 〕			
	(3)特別支援教育支援員等活用事業費 174,000 〔 特別な支援・医療的ケア等を必要とする 子どもへの支援 特別支援教育支援員65人、 学校生活支援員40人、学校看護師4人 登校支援教室指導員10人 〕			
	(4)学校相談員活用事業費 730 〔 日本語でのコミュニケーションが困難な 保護者の通訳対応や行事により養護教諭 不在時の保健室業務を行う相談員の派遣 〕			
	(5)特別支援教育巡回相談員活用事業費 4,320 〔 公認心理師等専門的知識を有する相談員 の派遣 巡回相談員5人 〕			

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
	5. 一般諸経費 202,000 (193,520)			
	(1) 一般諸経費			
教 育 費	小学校教育振興費			
	1. 教材整備費 9,450 (10,150)	130,095	負担金 3,193	118,097
	(1) 教材用備品購入費 8,700	(134,656)	国 2,694	
	〔 教材用備品、生活科用備品 特別支援学級用備品等 〕		諸収入 6,111	
	(2) 理科教育振興備品購入費 750			
	〔 3校（藤枝中央小、青島東小、岡部小） 〕			
	2. 教育振興経費 53,400 (55,082)			
	(1) 教育振興用消耗品費			
	〔 授業用消耗品、児童用図書購入代 パソコン用・クラブ活動用消耗品 教員用教科書、理科及び社会科副読本等 〕			
	3. 遠距離児童通学費補助金 1,080 (1,570)			
	(1) 遠距離児童通学費補助金			
	〔 補助対象 4km以上 (補助率10/10) 瀬戸谷小 17人対象 岡部小 17人対象 朝比奈第一小 2人対象 〕			
	4. 要保護及び準要保護就学援助費 48,000 (50,000)			
(1) 要保護及び準要保護就学援助費				
〔 対象者 要保護6人 準要保護623人 (修学旅行・医療・学用品・通学用品費等) 〕				
5. 特別支援教育就学奨励費 4,500 (4,000)				
(1) 特別支援教育就学奨励費				
〔 対象者 124人 (修学旅行・学用品・通学費等) 〕				

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
教	6. 日本スポーツ振興センター災害共済給付費 5,500 (5,500) (1) 日本スポーツ振興センター災害共済給付費 交付金 〔 学校管理下における児童の怪我等に対する 医療費等の給付 〕 7. 負担金及び補助金 8,165 (8,354) (1) P T A事業費補助金 1,090 〔 中規模 7校 小規模 5校 (定額補助) 〕 (2) 日本スポーツ振興センター共済掛金負担金 7,075			
	中学校管理費 1. 人件費 66,607 (76,107) (1) 学校医・学校薬剤師等報酬 39人 〔 中学校10校に4科 (内科・耳鼻科・眼科・歯科) 学校医、学校薬剤師及び産業医を委嘱 〕 (2) 一般職員 2. 学校管理費 105,859 (127,490) (1) 学校安全対策事業費 13,050 〔 新型コロナウイルス感染症対策に伴う消耗品 (消毒薬、アクリルパーテーション等) や 備品 (サーモマネージャー、空気清浄機等) などの購入 〕 (2) 備品整備費 7,300 〔 機械器具購入費 (印刷機、丁合機、 裁断機等) 校用器具購入費 (校用器具等) 〕 (3) 情報機器整備費 14,329 〔 P C教室P C借上料 図書室管理用P C借上料等 〕	440,586 (600,597)	国 16,506 繰入金 51,000 諸収入 121 起債 74,600	298,359
育				
費				

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳		
			特定財源	一般財源	
教 育 費	中学校教育振興費				
	1. 教材整備費	8,000 (9,040)	116,641 (119,004)	負担金 1,531	106,106
	(1)教材用備品購入費	7,400		国 2,781	
	〔 教材用備品、選択科目用備品 特別支援学級用備品 〕			諸収入 6,223	
	(2)理科教育振興備品購入費	600			
	〔 2校(高洲中、岡部中) 〕				
	2. 教育振興経費	39,194 (40,352)			
	(1)教育振興用消耗品費	38,100			
	〔 授業用消耗品、生徒用図書購入 パソコン用・クラブ活動用消耗品 社会科副読本等 〕				
	(2)部活動外部指導者活用事業費	1,094			
	〔 全中学校へ部活動外部指導者を派遣 〕				
	3. 遠距離生徒通学費補助金	690 (980)			
	(1)遠距離生徒通学費補助金				
	〔 補助対象 6km以上 (補助率10/10) 瀬戸谷中 1人対象 岡部中 8人対象 〕				
	4. 各種大会出場費支援事業費	3,000 (3,000)			
(1)各種大会出場費支援事業費					
〔 各種競技会・発表会等出場費への助成 地区大会～東海大会－交付金(定額交付) 全国大会－補助金(補助率10/10) 〕					
5. 要保護及び準要保護就学援助費	50,000 (49,000)				
(1)要保護及び準要保護就学援助費					
〔 対象者 要保護5人 準要保護399人 (修学旅行・医療・学用品・通学用品費等) 〕					

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
教 育 費	6. 特別支援教育就学奨励費 4,700 (4,600)			
	(1)特別支援教育就学奨励費 〔 対象者72人 (修学旅行・学用品・通学費等) 〕			
	7. 日本スポーツ振興センター災害共済給付費 6,000 (7,034)			
	(1)日本スポーツ振興センター災害共済給付費 交付金 〔 学校管理下における生徒の怪我等に 対する医療費等の給付 〕			
	8. 各種負担金及び補助金 5,057 (4,998)			
	(1)PTA事業費補助金 〔 中規模 6校 小規模 1校 (定額補助) 〕 448			
	(2)日本スポーツ振興センター共済掛金負担金 3,487			
	(3)県中学校文化連盟負担金 113			
	(4)志太榛原支部中学校体育連盟負担金 1,009			
	社会教育総務費			
1. 人件費 119,367 (113,287)	160,936 (143,911)	国 県	5,835 1,420	143,212
(1)社会教育委員報酬 8人				
(2)一般職員				
2. 生涯学習推進費 6,460 (9,840)		諸収入	10,469	
(1)学びの場創出事業費 500 〔 職業体験型生涯学習講座 (旅費、消耗品、使用料等) 〕				
(2)教育マイレージ事業費 770 〔 クラウドサーバー使用料 マイレージ達成者記念品代 〕				

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
教 育 費	(3)家庭教育支援事業費 3,060 〔 家庭教育学級 就学時健診時子育て講座 子育て出前講座 メディアモラル講座 の実施 〕			
	(4)学校サポーターズクラブ事業費 2,130 〔 10中学校区 コーディネーター25人 (コーディネーター謝礼、需用費等) 〕			
	3. 芸術文化振興費 17,024 (18,984)			
	(1)市民文化祭事業費 4,500 〔 開催時期 10月～11月予定 作品・出演者募集、文化体験教室等文化祭 の開催に係る委託料 〕			
	(2)文化活動団体等事業費補助金 4,500 〔 文化協会事業費 (定額補助) 〕			
	(3)子ども合唱アカデミー推進事業費 4,500 〔 学校への合唱指導者派遣に伴う講師謝礼、 市内合唱団とプロ合唱団による合唱公演 委託料等 〕			
	(4)芸術文化活動支援費 2,800 〔 美術作品の展覧会、ワークショップ等の 開催に係る委託料等 〕			
	(5)文化振興協議会経費 74 〔 協議会委員への謝礼等 〕			
	(6)俳句文化振興事業費 650 〔 俳句大会開催に伴う選者謝礼、需用費等 子ども向け吟行句会の開催 〕			
	4. 人権教育関係経費 114 (114)			
(1)人権問題啓発関係経費 〔 人権教育啓発推進委員 6人、講師謝礼等 〕				

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
教 育	5. 地域文化振興事業費	1,400 (400)		
	(1)文化芸術活動報奨金	400		
	〔 全国大会に出場する個人、団体への報奨金 (上限 個人5千円 団体50千円) 〕			
	(2)文化の宝箱事業費	1,000		
	〔 小中学校への芸術家等派遣に伴う講師謝礼 〕			
	6. デジタル田園都市国家構想交付金事業費	12,970 (-)		
	(1)藤枝市民大学事業費	12,300		
	〔 藤枝市民大学 期間 5月～3月(予定) コース 一般教養、リカレント教育、資格取得 (業務委託料、負担金) 〕			
	(2)地域で活躍する人材育成事業費	670		
	〔 人材活用事業、地域で活躍する人材育成 研修会、オンデマンドスクール 〕			
7. 一般諸経費	3,260 (940)			
(1)一般諸経費				
8. 負担金	341 (346)			
(1)社会教育委員連絡協議会負担金等				
生涯学習センター費				
1. 生涯学習センター管理運営費	44,600 (36,750)	44,600 (36,750)	使用料 6,510	38,090
(1)生涯学習センター管理運営費				
〔 会計年度任用職員報酬、需用費、 設備修繕、施設維持管理委託料、 備品購入 等 〕				

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
教 育 費	青少年育成費			
	1. 人件費	33,830 (32,620)	国	51,703
	(1) 青少年問題協議会委員報酬 13人		1,100	
	(2) 一般職員		2,860	
	2. はたちの集い開催経費	2,570 (-)	県	
	(1) はたちの集い開催経費			
	〔 開催日 令和6年1月7日(日) 予定 対象者への記念品代、需用費、手数料等 〕			
	3. 青少年活動育成費	330 (453)		
	(1) 青少年学習支援経費 (勤労青年等への学習指導講師謝礼)			
	4. 青少年活動推進事業費	3,663 (4,185)		
	(1) 青少年活動推進事業費	3,113		
	〔 子ども会世話人連絡会事業費補助金 (定額補助) 少年少女合唱団事業費補助金 (定額補助) 各種団体活動事業費補助金 (定額補助) (ボーイスカウト・ガールスカウト) 青少年健全育成推進会議事業費補助金 (定額補助) 〕			
	(2) 自然体験活動推進事業費	550		
〔 ネイチャーキッズ事業、プレイパーク等 (報償費、需用費、役務費等) 〕				
5. 放課後子ども教室推進事業費	4,290 (4,290)			
(1) 放課後子ども教室推進事業費				
〔 代表者会議謝礼、委託料等(8カ所) 〕				
6. 補導センター運営費	4,270 (4,490)			
(1) 補導センター運営費				
〔 補導員地区活動費、需用費等 〕				

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
教 育 費	7. 青少年健全育成市民大会開催経費	560 (560)		
	(1) 青少年健全育成市民大会開催経費 〔 講師謝礼、表彰者への記念品代等 〕			
	8. 科学教育推進事業費	3,250 (-)		
	(1) 科学探究心育成事業費 〔 科学体感イベント、科学教室 JAXAとの連携、少年少女発明クラブ 〕			
	9. デジタル田園都市国家構想交付金事業費	2,200 (-)		
	(1) ロボットアカデミー事業費 〔 ロボコン対策集中講座 Enjoy! ロボット&プログラミング講座 Pepperプログラミングアカデミー講座 親子プログラミング講座等 〕			
	10. 一般諸経費	100 (213)		
	(1) 一般諸経費			
	11. 補助金	600 (800)		
	(1) スマイルキッズタウンふじえだ事業費補助金 (補助率1/2以内) 〔 擬似都市体験を通じ、子どもたちが 社会の仕組みを学ぶ機会の提供 開催 7・8月予定 〕			
勤労青少年ホーム費				
1. 人件費	20 (20)	6,720	使用料 824	5,459
(1) 勤労青少年ホーム運営委員報酬 4人		(9,480)	諸収入	
2. 勤労青少年ホーム管理運営費	6,110 (8,870)		437	
(1) 勤労青少年ホーム管理運営費 〔 会計年度任用職員報酬、委託料、修繕料等 〕				

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
教 育 費	3. 各種講座開催費 590 (590) (1)各種講座開催費 [パーソナルカラー、ブレイクダンス、 フラワーアレンジメント等 (報償費等)]			
	図書館費 1. 人件費 96,607 (85,617) (1)図書館協議会委員報酬 7人 (2)一般職員 2. 図書館管理運営費 246,930 (238,610) (1)駅南図書館管理運営費 195,490 [会計年度任用職員報酬、需用費 (光熱水費等)、施設維持管理委託料 賃借料 (BiVi藤枝借上料) 等] (2)岡出山図書館管理運営費 42,140 [会計年度任用職員報酬、需用費 (光熱水費等)、施設維持管理委託料等] (3)岡部図書館管理運営費 9,300 [会計年度任用職員報酬、需用費 (消耗品費)、報償費 (講師謝礼) 等] 3. 子ども読書活動推進事業費 6,134 (6,468) (1)子ども読書活動推進事業費 4,750 [ブックスタートパック配布 子ども読書活動推進講演会等講師謝礼 移動図書館車維持管理経費等] (2)調べ学習支援事業費 984 [夏季期間での子どもへのレファレンス対応 の充実 (会計年度任用職員報酬等)] (3)読書っ子育成事業費 400 [出張貸出用図書購入費]	394,256 (374,745)	諸収入 54	394,202

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
教	4. 図書資料整備費 44,355 (43,800)			
	(1) 電子図書館管理運営費 2,955 〔 電子図書館システム運営費 電子書籍利用料 〕			
教	(2) 図書購入費 36,000 〔 一般図書・児童図書等 〕			
	(3) 図書資料購入費 4,400			
教	(4) エコノミックガーデニング支援事業費 1,000 〔 ビジネス支援機能の充実 市内中小企業の経営戦略支援 〕			
	5. 一般諸経費 230 (250)			
育	郷土博物館費			
	1. 人件費 55,541 (51,721)			
育	(1) 博物館協議会委員報酬 4人	119,431	使用料	101,594
	(2) 一般職員	(109,591)	国	
育	2. 博物館管理費 43,590 (38,030)			
	(1) 博物館維持管理費 40,290 〔 会計年度任用職員報酬、施設維持管理 委託料等 〕			
費	(2) 公共施設等脱炭素化推進事業費 3,300 〔 郷土博物館LED工事設計業務委託 〕			

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
教 育	3. 博物館事業費	16,800		
		(19,840)		
	(1) 博物館事業費	10,000		
	<ul style="list-style-type: none"> ミニチュア・ドールハウス展 昭和レトロモダン展 軽便ミニSL「B15」運行リニューアル整備 企画展等講師謝礼、展示構成委託料等 			
	(2) 体験学習費	800		
	<ul style="list-style-type: none"> 体験学習講師謝礼、需用費等 			
	(3) 藤枝の鉄道遺産展示発信事業費	6,000		
	<ul style="list-style-type: none"> 藤枝駅構内展示ブース制作 特急こだま・軽便駿遠線模型制作 静鉄路線バス軽便ラッピング広告 			
	4. デジタル田園都市国家構想交付金事業費	3,500		
		(-)		
	(1) 家康特別展展示発信事業費			
	<ul style="list-style-type: none"> 特別展「徳川家康と田中城」 家康関連イベント（歴史歌劇・鷹狩り） 			
費	文学館費			
	1. 文学館管理費	16,160		
		(13,900)	28,860	使用料 8,998
	(1) 文学館維持管理費	14,460	(25,510)	諸収入 304
	<ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員報酬 施設維持管理委託料等 			起債
	(2) 公共施設等脱炭素化推進事業費	1,700		1,500
	<ul style="list-style-type: none"> 文学館LED工事設計業務委託 			
				18,058

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
	2. 文学館事業費 12,700 (11,610) (1) 文学館事業費 [小川国夫展 田島征三アートのぼうけん展 曾宮一念と藤枝静男展 黒井健絵本原画展 企画展等講師謝礼、展示構成委託料等]			
教	文化財保護費			
	1. 人件費 81 (96) (1) 文化財保護審議会委員報酬 8人	35,921	15	31,285
	2. 文化財保護管理費 30,940 (31,560) (1) 文化財保存活用地域計画策定事業費 1,430 [報償費、印刷製本費等] (2) 文化財保護管理費 10,000 [会計年度任用職員報酬、需用費等 補助金 民俗芸能保存団体事業費補助金(定額補助) 文化財保存事業費補助金(補助率1/2) 朝比奈大龍勢打上櫓改修工事]	(31,656)	3,109	
育			諸収入	
			112	
			起債	
			1,400	
費	(3) 志太郡衙跡史跡管理費 6,530 [施設維持管理委託料、需用費等] (4) 田中城跡史跡管理費 6,580 [施設維持管理委託料、需用費等] (5) その他史跡等管理費 4,100 [松並木予防剤注入委託料等] (6) 施設マネジメント計画推進事業費 700 [史跡田中城下屋敷公衆便所等改修工事]			

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
教	(7) 公共施設等脱炭素化推進事業費 1,600 〔 史跡田中城下屋敷等LED化工事設計 業務委託 〕			
	3. デジタル田園都市国家構想交付金事業費 4,900 (-) (1) 家康鷹狩りと田中城跡情報発信事業費 〔 展示パネル作成手数料、印刷製本費等 〕			
育	文化施設費 1. 施設管理運営費 93,600 (137,050) (1) 市民会館管理運営費 66,200 〔 <指定管理者> (株)アス・藤枝オリコミピーアールグループ 施設管理運営委託料 45,072 工事費 20,460 需用費、備品購入費等 668 〕	93,600 (137,050)	使用料 6,433 繰入金 20,000 諸収入 76	67,091
	(2) 文化センター管理運営費 27,400 〔 会計年度任用職員報酬、施設維持管理 委託料、需用費等 〕			
費	街道文化振興費 1. 街道文化史跡管理費 48,580 (31,090) (1) 大旅籠柏屋整備事業費 16,400 〔 大旅籠柏屋浴室改修工事費等 〕 (2) 大旅籠柏屋・内野本陣史跡管理費 31,600 〔 会計年度任用職員報酬、需用費等 〕 (3) 千貫堤・瀬戸染飯伝承館管理費 580 〔 需用費、役務費等 〕	59,930 (42,087)	使用料 2,354 国 8,200 諸収入 6,882 起債 6,000	36,494
	2. 街道文化発信事業費 11,350 (10,997) (1) 日本遺産推進事業費 4,170 〔 駿州の旅日本遺産推進協議会への負担金 〕			

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
教	(2) 街道・宿場文化発信事業費 2,480 [街道・宿場文化発信事業費補助金 (定額補助) 宿場資源ライトアップ事業委託料] (3) 東海道ブランド化推進事業費 3,200 [東海道Web運用保守業務委託料 梅安や家康で巡る藤枝宿周遊イベント 等] (4) 宿場資源活用事業費 1,500 [文化交流体験事業企画運營業務委託料 来訪・交流人口拡大に向けた宿場の地域資源を活用]			
	スポーツ振興費 1. 人件費 86,225 (93,720) (1) スポーツ推進審議会委員報酬 6人 (2) スポーツ推進委員報酬 57人 (3) 一般職員 2. スポーツ活動推進事業費 24,463 (24,413) (1) 生涯スポーツ推進事業費 5,200 [ニュースポーツ大会・教室開催 Sports in life スポーツ促進プログラム等 (スポーツ推進委員謝礼、費用弁償等)] (2) 生涯スポーツ支援事業費 5,283 [スポーツ&健康フェスタ事業費補助金 (定額補助) ふじえだマラソン事業費補助金 (定額補助) リバティ駅伝大会事業費補助金 (定額補助) 総合型地域スポーツクラブ事業費補助金 (補助率 1/3、上限15万円) 地域スポーツ振興事業交付金 (補助額:算出式による額)]	319,720 (300,669)	使用料 18,857 県 250 寄附金 1,000 繰入金 9,000 諸収入 346 起債 8,400	281,867
育				
費				

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
教	(3) 競技スポーツ支援事業費 3,380 〔 スポーツ少年団本部事業費補助金 (定額補助) 市町対抗駅伝大会事業費補助金 (定額補助) 全国大会等出場選手報奨金等 〕			
	(4) 市スポーツ協会助成費 10,600 〔 特定非営利活動法人 藤枝市スポーツ協会事業費補助金 (定額補助) 〕			
育	3. 次世代の宝育成推進事業費 34,404 (32,320)			
	(1) なでしこ育成事業費 860 〔 選手の雇用環境を支えるシステム「藤枝 独自の女子サッカー環境づくり」の推進 負担金補助及び交付金等 〕			
費	(2) トップアスリート育成事業費 1,830 〔 市内の中学生世代の選手を中心に、 サッカー競技におけるトップアスリート を育成 市サッカー協会と連携し、座学・実技 講習会を開催 講師謝礼、指導員謝礼等 〕			
	(3) ジュニアアスリートマルチサポート事業費 500 〔 市内のジュニア期 (小学生世代) の選手に 対する育成、強化に向けた保護者、指導者 のサポート体制の構築 講師謝礼、消耗品費等 〕			
	(4) スポーツ保育事業費 500 〔 幼児期からの運動習慣の基盤づくりのため 幼児体力測定や運動遊び等の実施 委託料 〕			

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
教	(5) プロチーム等誘致推進事業費 13,000 〔プロスポーツの試合を誘致し、子ども達に夢と希望を与え、トップアスリーの育成を推進 施設利用料に伴う負担金〕			
	(6) 夢の教室開催事業費 3,314 〔市内全小学校に元Jリーガーを中心とした「夢先生」をリモートで派遣し青少年の健全育成等を図る事業 委託料〕			
	(7) 地域おこし協力隊活動事業費 14,400 〔藤枝独自の女子サッカー環境づくりなどを着実に推進するための企画や運営の実施等 報償費、負担金補助及び交付金等〕			
育	4. ドリームプラン推進事業費 18,518 (8,358)			
	(1) ドリームプラン推進経費 660 〔懇談会の開催、PRポスターの作成 藤枝ゆかりの選手応援事業等〕			
	(2) 各種サッカー大会支援事業費 7,858 〔①全国PK選手権大会(定額補助) ②全国シニアサッカー大会(定額補助) ③JC杯争奪全国少年少女サッカー大会(定額補助) ④全国高校サッカーフェスティバル藤枝大会(定額補助) ⑤市長杯争奪ジュニアユースサッカー大会(定額補助) ⑥市長杯争奪ユースサッカー大会(定額補助)〕			
費				

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
教 育 費	(3) 藤枝サッカー100周年記念事業費 10,000 〔 令和6年に100周年を迎える「藤枝サッカーの歩み」についての記念事業の検討等、実施に向けた準備等 報償費、需用費、委託料等 〕			
	5. 体育施設管理運営経費 103,240 (102,618)			
	(1) 体育施設管理運営経費 〔 修繕料、委託料 市民体育館・市武道館 ＜指定管理者＞ 特定非営利活動法人 藤枝市スポーツ協会 西益津・大洲温水プール及び勤労者体育館 ＜指定管理者＞ 静岡ビル保善(株) 市民グラウンド・市民テニス場 ＜指定管理者＞ (株)協栄静岡支店 岡部体育館管理運営費 大井川スポーツ広場グラウンドゴルフ場 管理運営費 〕			
	6. 学校体育施設等維持管理経費 11,600 (11,520)			
	(1) 学校体育施設等維持管理経費 〔 夜間学校施設管理等謝礼 夜間照明施設等修繕料 施設維持管理委託料、その他経費 〕			
	7. 施設整備費 40,600 (26,000)			
	(1) 施設整備費 30,000 〔 工事費 (市民テニス場コート人工芝張替 工事他) 〕			
	(2) 施設マネジメント計画推進事業費 10,600 〔 西益津温水プール排水設備改修工事 他 〕			

(単位：千円)

款別	事業の概要	令和5年度 予算額	左の財源内訳	
			特定財源	一般財源
	8. 一般諸経費 670 (720) (1) 一般諸経費			
教 育 費	学校給食運営費			
	1. 人件費 162,165 (171,175) (1) 学校給食センター運営委員会委員報酬 16人 (2) 一般職員	920,125 (513,785)	繰入金 44,000 諸収入 100	475,825
	2. 学校給食運営費 305,660 (291,710) (1) 学校給食運営費 303,200 〔 会計年度任用職員報酬 委託料 (学校給食配送業務・施設維持管理等) 需用費(光熱水費等)等 〕		起債 400,200	
	(2) 学校給食地産地消推進事業費 1,260 (報償費、需用費等)			
	(3) 学校給食食育推進事業費 1,200 〔 委託料 (学校給食献立開発業務) 〕			
	3. 施設整備費 452,300 (49,700) (1) 新学校給食センター整備事業費 447,200 〔 委託料 〔 新学校給食センター基本設計・実施設計、 造成設計、地盤変動調査 建設用地取得費、物件等移転補償費、 大井川用水決裁金、手数料 〕 〕			
	(2) 学校給食センター円滑運営改善事業費 5,100 〔 調理機器等の更新(各学校給食センター) 〕			